

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成29年8月24日


目次

1 本県の経済概況	1～2
2 主な指標の動き	
(1) 個人消費	3～4
(2) 建設需要	5～7
(3) 生産活動	8～9
(4) 雇用・労働	10～12
(5) 物価	13
(6) 企業・金融	14～15
(7) 市場	16
3 主要経済指標	17～22
4 参考	
1 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	23～27
2 景気動向指数(福島県)	28
3 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店)	29
4 月例経済報告(内閣府)	29
5 「最近の県経済動向」総合判断(福島県)	29

福島県 企画調整部 統計課

1 本県の経済概況

総合判断


前月判断から
の変化方向  前月据置

県内の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、
着実に持ち直している。

個別判断

概要

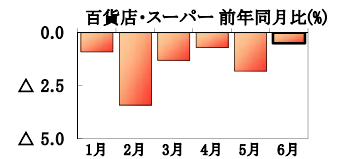
(1) 個人消費

判断の変化方向 

◆ 一部に明るい動きがみられるが、弱含んでいる。

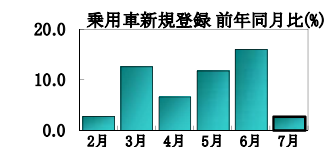
◆ 百貨店・スーパー販売額 (6月)

全店舗ベースで総額200億円、対前年同月比0.5%減(既存店前年同月比0.5%減)となり、7か月連続で前年を下回っている。




◆ 乗用車新規登録台数 (7月)

新規登録台数は5,492台、対前年同月比2.7%増となり、9か月連続で前年を上回っている。



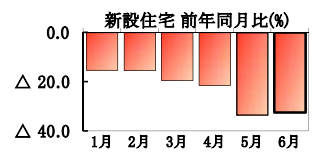
(2) 建設需要

判断の変化方向 

◆ 公共工事、民間需要はともに前年を下回っている。

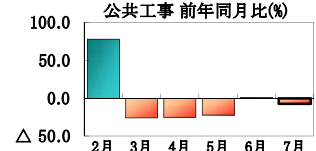
◆ 新設住宅着工戸数 (6月)

新設住宅着工戸数は996戸、対前年同月比32.4%減となり、6か月連続で前年を下回っている。



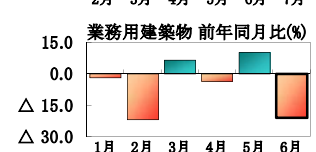
◆ 公共工事請負金額 (7月)

公共工事請負金額は総額約488億円、対前年同月比7.2%減となり、2か月振りに前年を下回っている。




◆ 業務用建築物着工棟数 (6月)

業務用建築物着工棟数は155棟、対前年同月比20.9%減となり、2か月振りに前年を下回っている。



(3) 生産活動

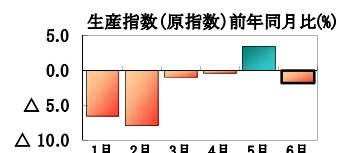
判断の変化方向 

◆ 一部に弱い動きがみられる。

◆ 鉱工業指数 (6月)

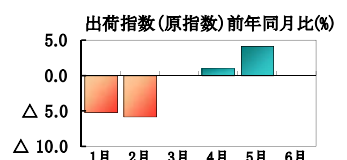
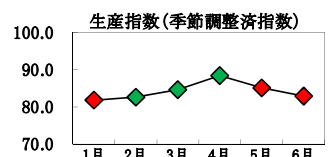
鉱工業生産指数・原指数(速報値)は87.5、対前年同月比1.8%減となり、2か月振りに前年を下回っている。

季節調整済指数(速報値)は82.9、対前月比2.6%減となり、2か月連続で前月を下回っている。

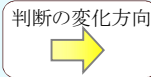


鉱工業出荷指数(原指数・速報値)は85.5、対前年同月比0.0%となっている。

鉱工業在庫指数(原指数・速報値)は90.3、対前年同月比11.4%減となり、8か月連続で前年を下回っている。



(4) 雇用・労働



◆ 緩やかに改善している。

◆ 求人倍率 (6月)

新規求人倍率は1.89倍(季節調整値)、前月を0.20ポイント下回っている。

有効求人倍率は1.45倍(季節調整値)、前月を0.02ポイント下回っている。

なお、有効求人数は5か月連続で、有効求職者数は3か月連続で前年を上回った。

◆ 雇用保険受給者実人員 (6月)

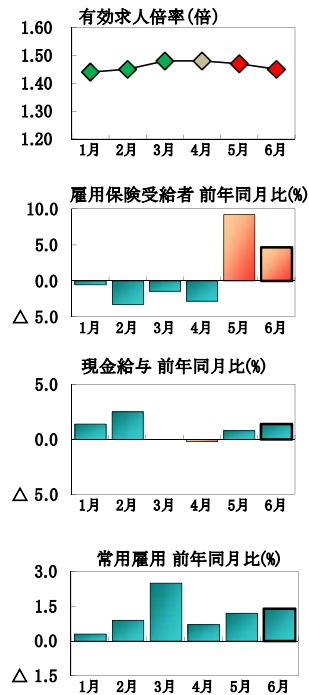
雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員は6,942人、対前年同月比4.7%増となり、2か月連続で前年を上回っている。

◆ 労働 (6月)

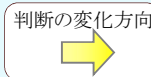
現金給与総額指数は133.9(事業所規模5人以上)、対前年同月比1.4%増となった。なお、事業所規模30人以上は147.2、対前年同月比0.2%増となった。

所定外労働時間指数は90.0、対前年同月比2.6%増となった。

常用雇用指数は101.5、対前年同月比1.4%増となっている。



(5) 物 価



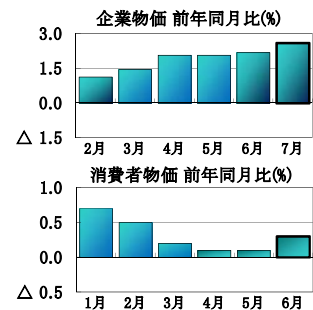
◆ 企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。

◆ 国内企業物価指数 (7月)

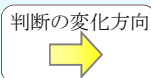
物価指数は98.8(速報値)、対前年同月比2.6%増となり、7か月連続で前年を上回っている。なお、対前月比は0.3%増となり、2か月連続で前月を上回っている。

◆ 福島市消費者物価指数 (6月)

物価指数は100.4、対前年同月比0.3%増となり、8か月連続で前年を上回っている。なお、対前月比は0.0%となっている。



(6) 企業・金融



◆ 企業倒産は、総じて落ち着いた状態で推移している。金融預金残高、貸出残高はともに前年を上回っている。

◆ 企業倒産 (7月)

倒産件数は6件、対前年同月比20.0%増となり、2か月振りに前年を上回っている。

負債総額は6億1,000万円、対前年同月比51.2%減となり、2か月振りに前年を下回っている。

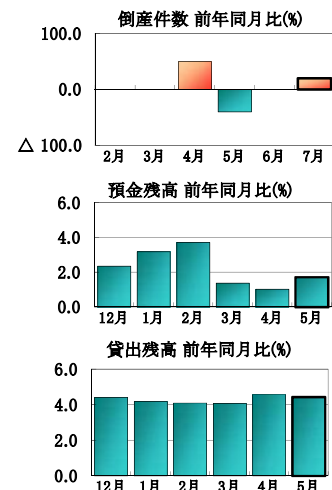
◆ 金融機関預貸残高 (5月)

預金残高は9兆9,802億円、対前年同月比1.7%増となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。

貸出残高は4兆4,543億円、対前年同月比4.4%増となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。

◆ 貸出約定平均金利 (5月)

平均金利は0.899%となり、前月より0.016ポイント下落し、2か月振りに前月を下回っている。



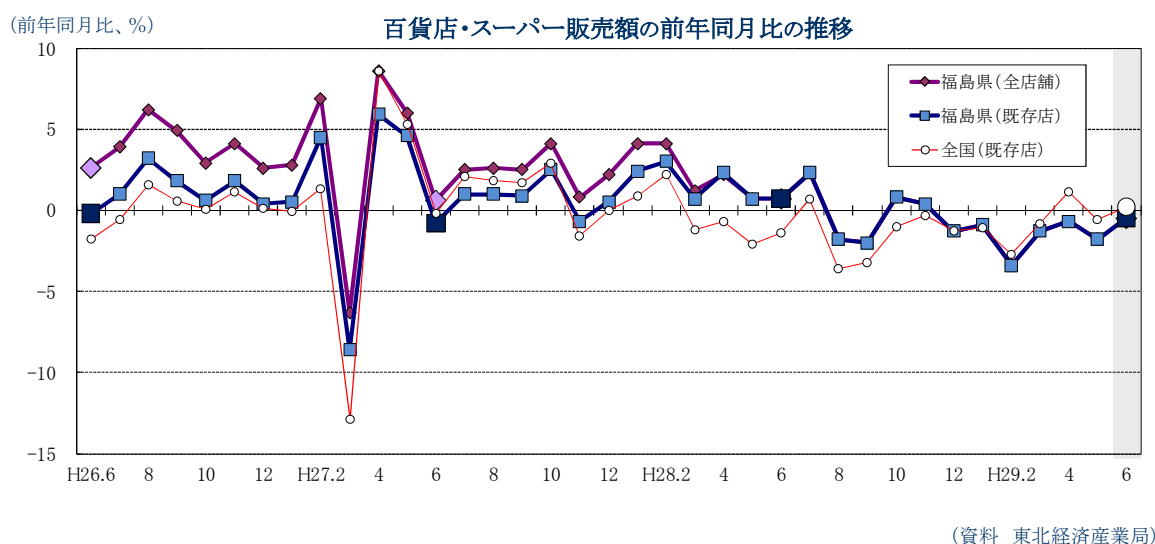
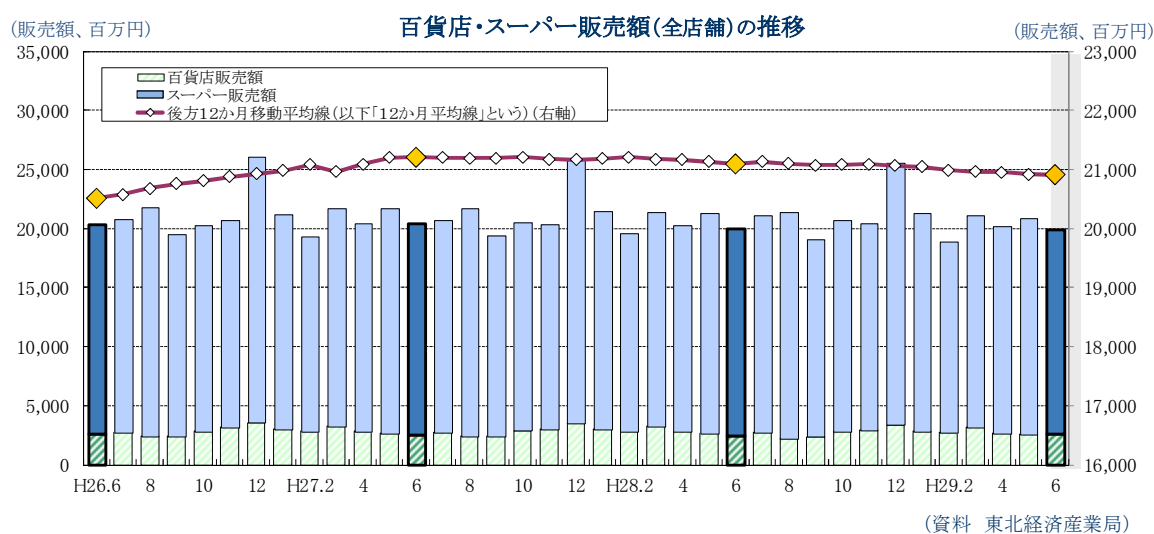
※備考 指標名の色について、前年と比較(求人倍率については、前月と比較)して、改善している指標は緑字、悪化している指標は赤字、同水準である、または個別には判断のつかない指標は灰色で表しています。

2 主な指標の動き

(1) 個人消費

◆ 百貨店・スーパー販売額(6月)は全店舗ベースで総額200億円、対前年同月比0.5%減となり、7か月連続で前年を下回っている。また、既存店ベースの対前年同月比は0.5%減となっている。

内訳をみると、百貨店は全店舗ベース及び既存店ベースで前年同月比9.1%増となっている。スーパーは全店舗ベース及び既存店ベースで前年同月比1.9%減となっている。



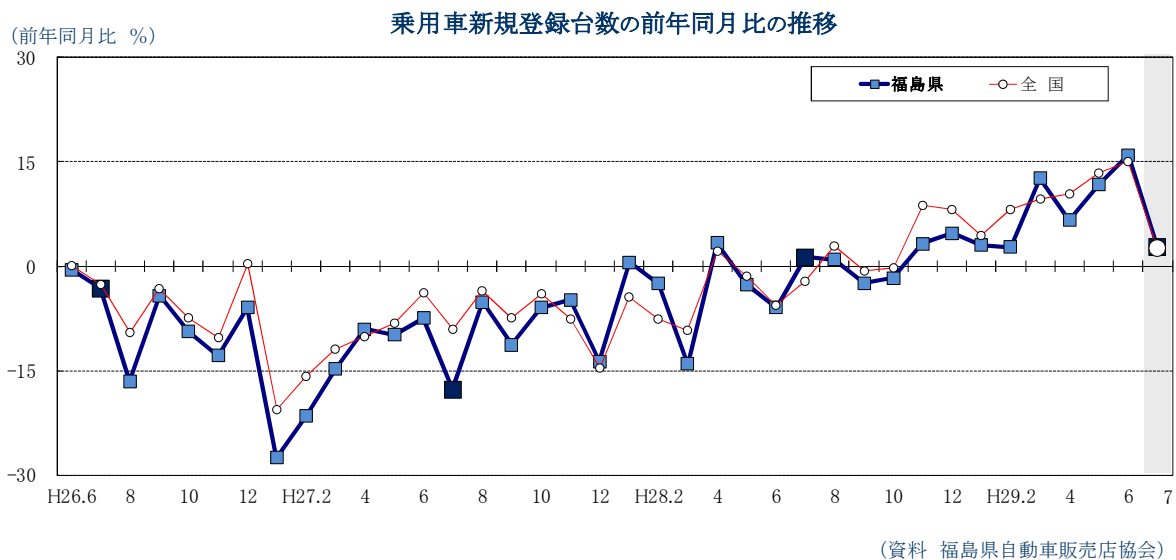
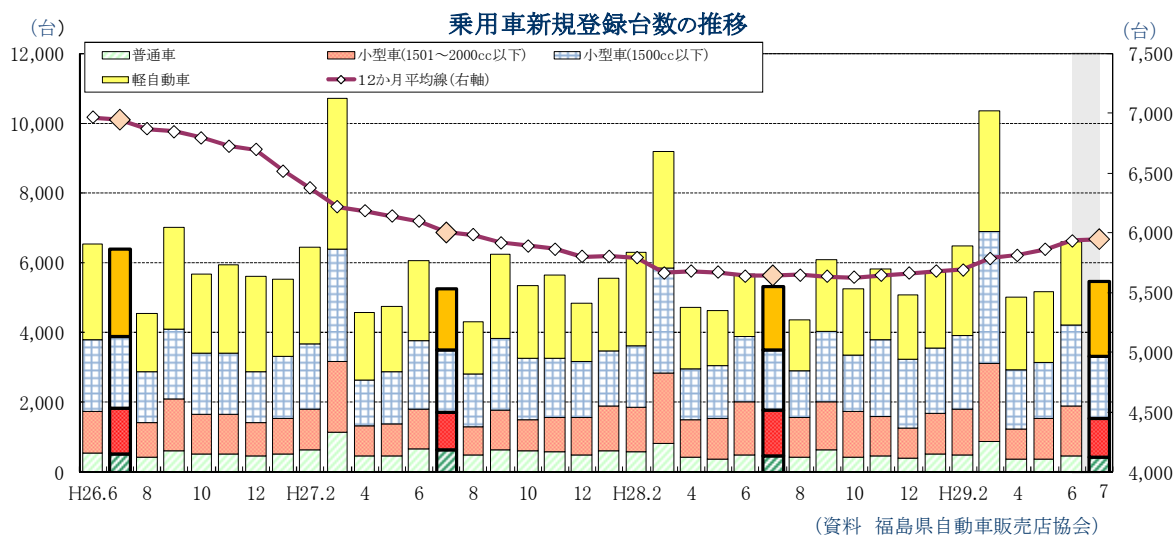
【百貨店・スーパー販売額(旧大型小売店販売額)】

調査対象となる百貨店3店とスーパー90店(6月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれていますので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

なお、平成27年7月分から、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターとの重複是正を行ったため、平成27年6月分以前の月間販売額などとの間に不連続が生じています。なお、前年(同期、同月)比は、ギャップ調整のためリンク係数で処理した数値で計算しています。

◆ 乗用車新規登録台数(7月)は5,492台、対前年同月比2.7%増となり、9か月連続で前年を上回っている。

内訳をみると、普通車及び小型車(1501～2000cc)は前年を下回ったものの、小型車(1500cc以下)及び軽自動車は前年を上回った。

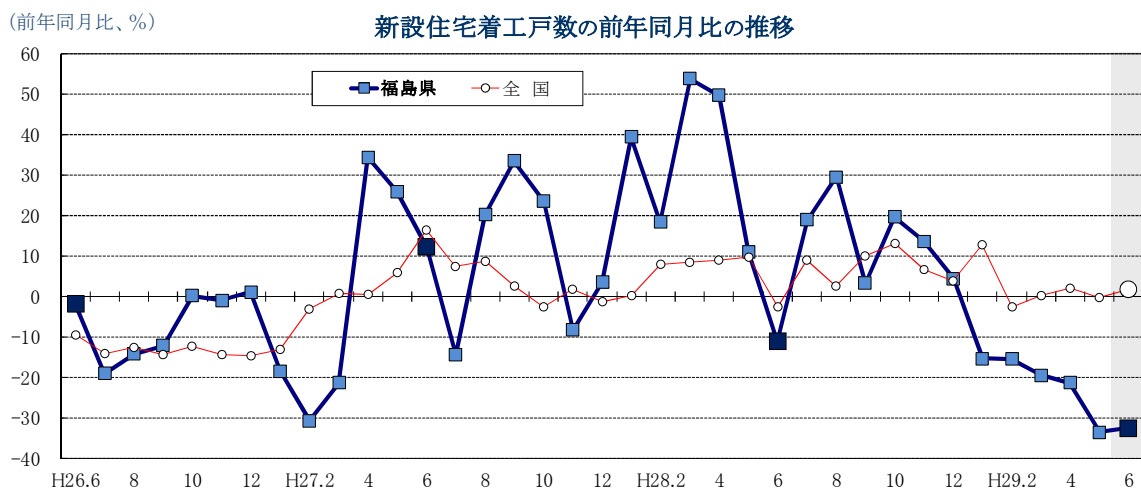
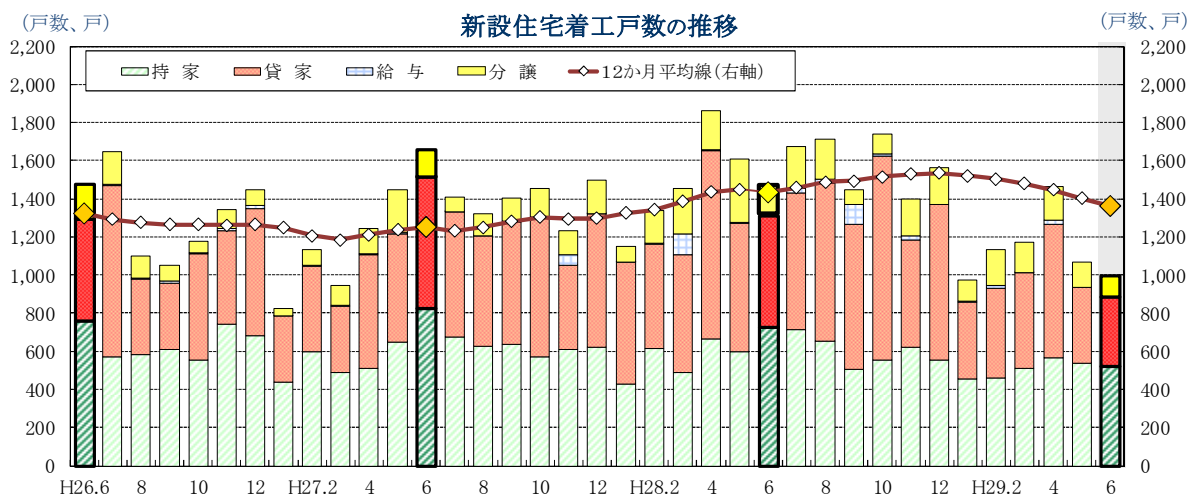


【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

(2) 建設需要

◆ 新設住宅着工戸数(6月)は996戸、対前年同月比32.4%減となり、6か月連続で前年を下回っている。

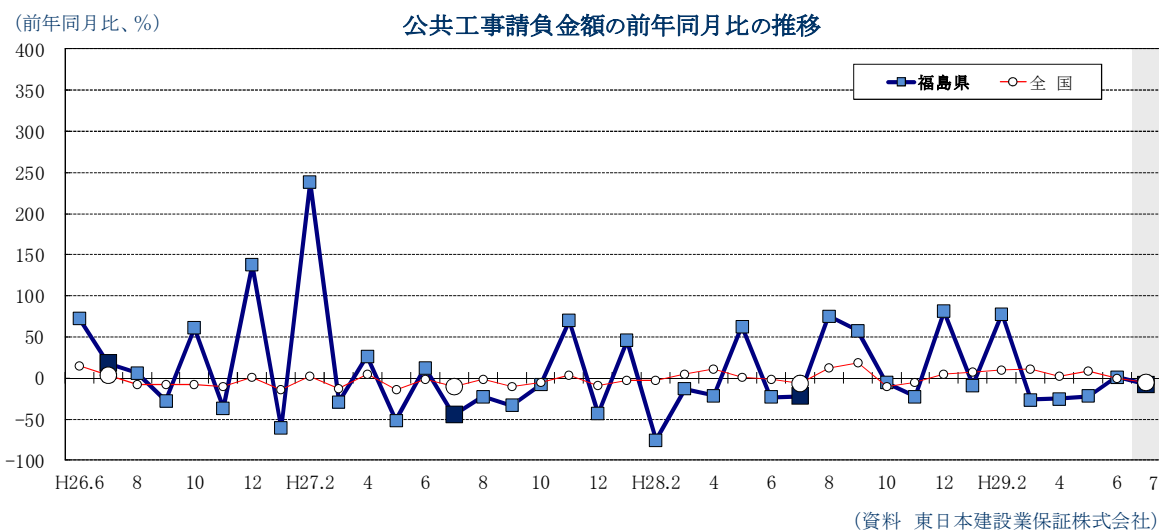
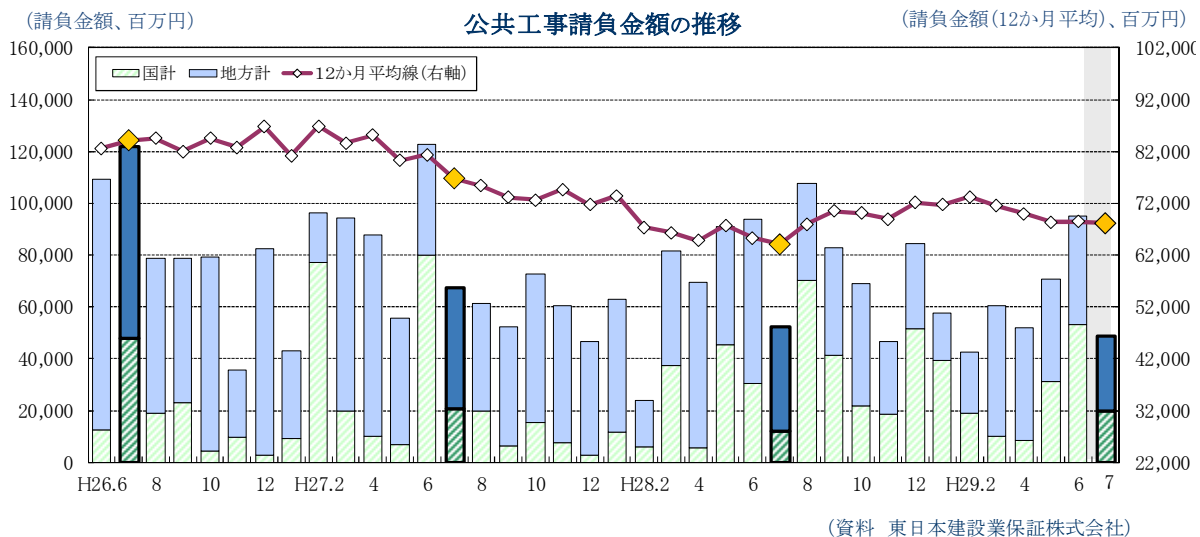


【新設住宅着工戸数】

家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事はその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

◆ **公共工事請負金額(7月)**は総額約488億円、対前年同月比**7.2%減**となり、**2か月振りに前年を下回った**。

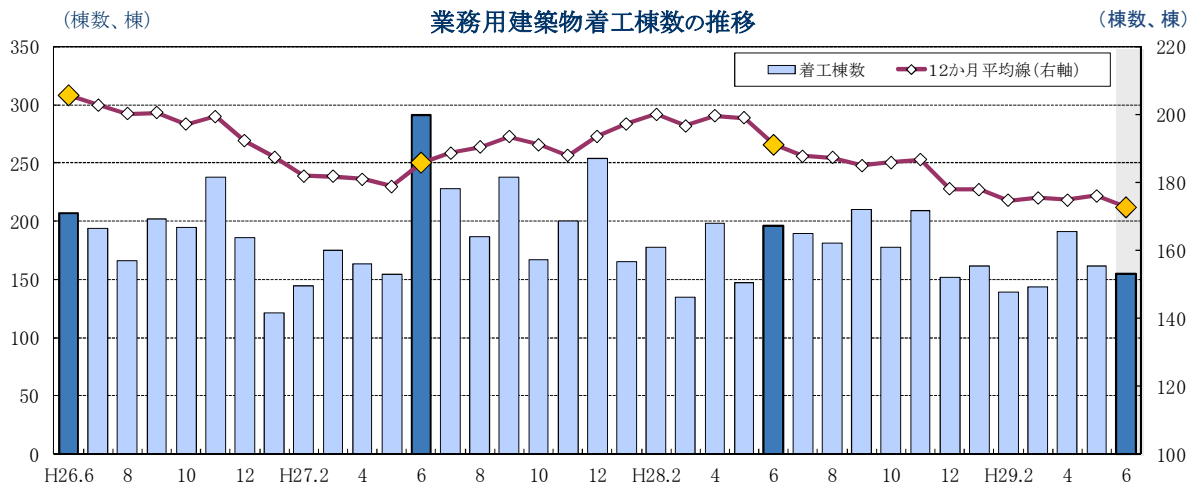
内訳をみると、国の機関は2か月連続で前年を上回り、地方の機関は4か月連続で前年を下回っている。



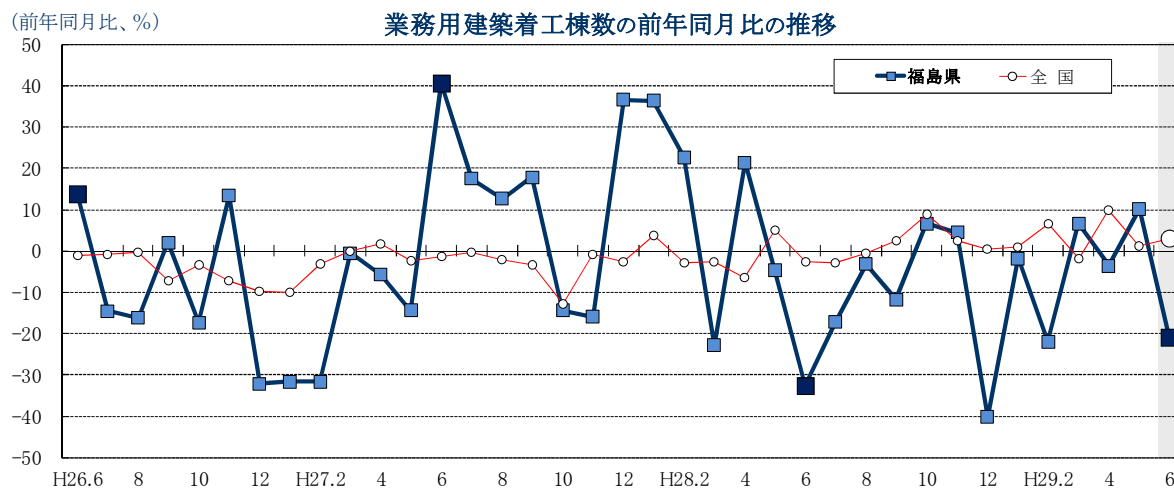
【公共工事請負額】

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工棟数(6月)は155棟、対前年同月比20.9%減となり、2か月振りに前年を下回っている。



(資料 国土交通省)



(資料 国土交通省)

【業務用建築物着工棟数】

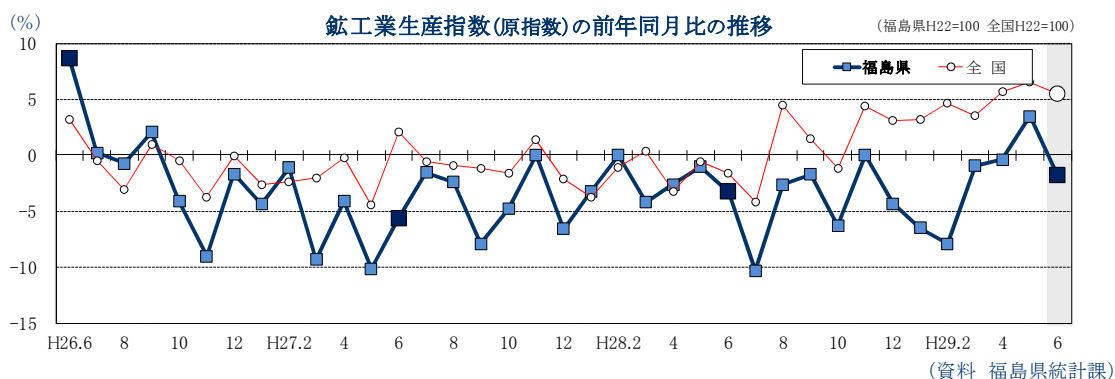
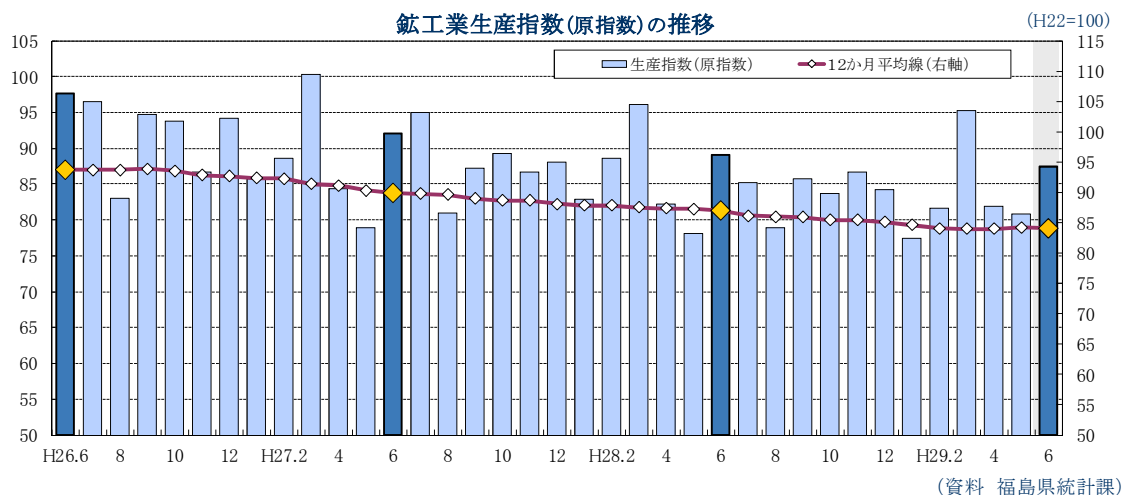
建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならない。この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

(3) 生産活動

◆ **鋳工業生産指数(6月)**は原指数**87.5**(速報値)、対前年同月比**1.8%減**となり、2か月振りに前年を下回っている。
 季節調整済指数は**82.9**(速報値)、対前月比**2.6%減**となり、2か月連続で前月を下回っている。業種別にみると、19業種のうち輸送機械工業やゴム、皮革製品工業などの5業種で前月を上回ったものの、化学工業やはん用・生産用・業務用機械工業などの13業種で前月を下回っている。

◆ **鋳工業出荷指数(6月)**は原指数**85.5**(速報値)、対前年同月比**0.0%**となっている。
 季節調整済指数は**81.6**(速報値)、対前月比**1.7%減**となり、2か月連続で前月を下回っている。業種別にみると、19業種のうち輸送機械工業やゴム、皮革製品工業など11業種で前月を上回っている。

◆ **鋳工業在庫指数(6月)**は原指数**90.3**(速報値)、対前年同月比**11.4%減**となり、8か月連続で前年を下回っている。季節調整済指数は**92.2**(速報値)、対前月比**1.6%減**となり、5か月連続で前月を下回っている。

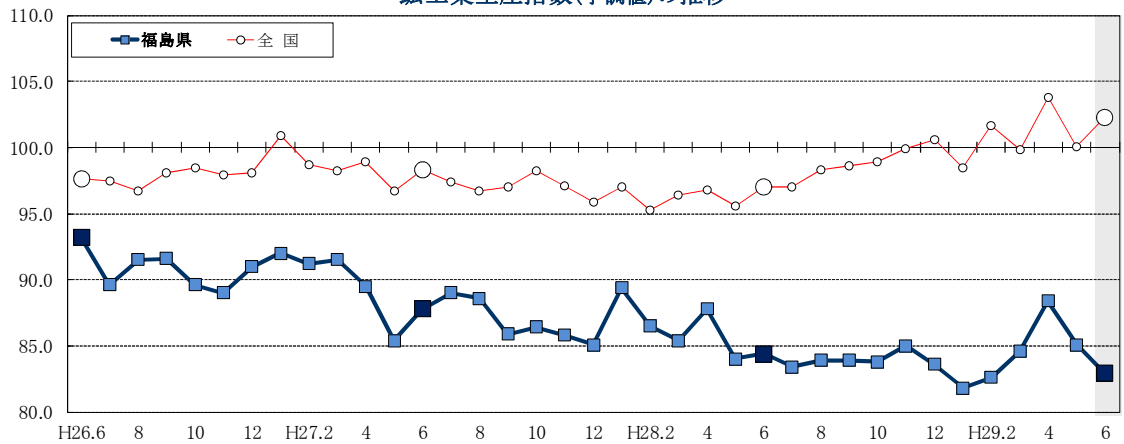


【鋳工業指数】

鋳工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成22年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。

鉦工業生産指数(季調値)の推移

(福島県H22=100 全国H22=100)



(資料 福島県統計課)

【原指数と季節調整済指数】

鉦工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

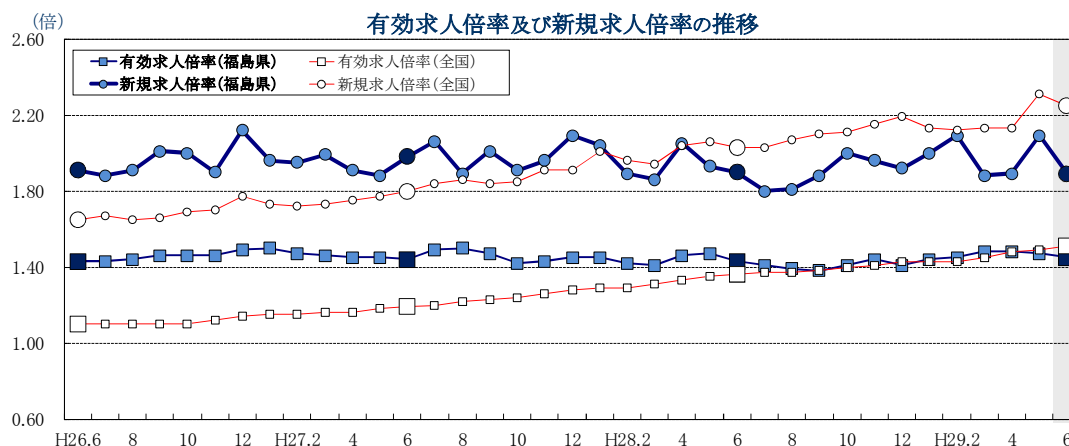
鉦工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で直近の動きをみるというように複合的に利用します。

(4) 雇用・労働

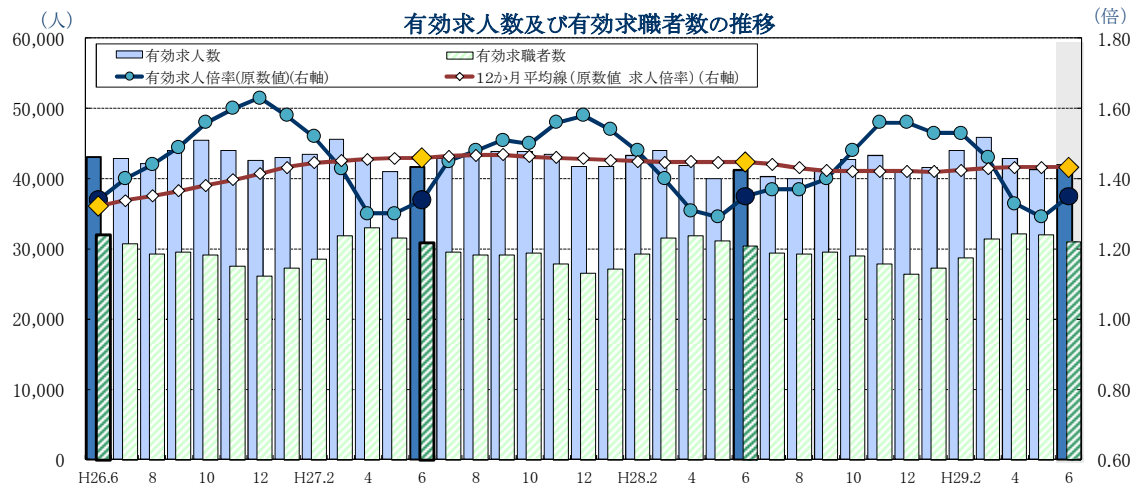
◆ 新規求人倍率(6月)は1.89倍(季節調整値)、前月を0.20ポイント下回った。

◆ 有効求人倍率(6月)は1.45倍(季節調整値)、前月を0.02ポイント下回った。

なお、有効求人数は41,973人(対前年同月比1.7%増)となり、5か月連続で前年を上回った。一方、有効求職者数は31,114人(同1.8%増)となり、3か月連続で前年を上回った。



(資料 厚生労働省、福島労働局)

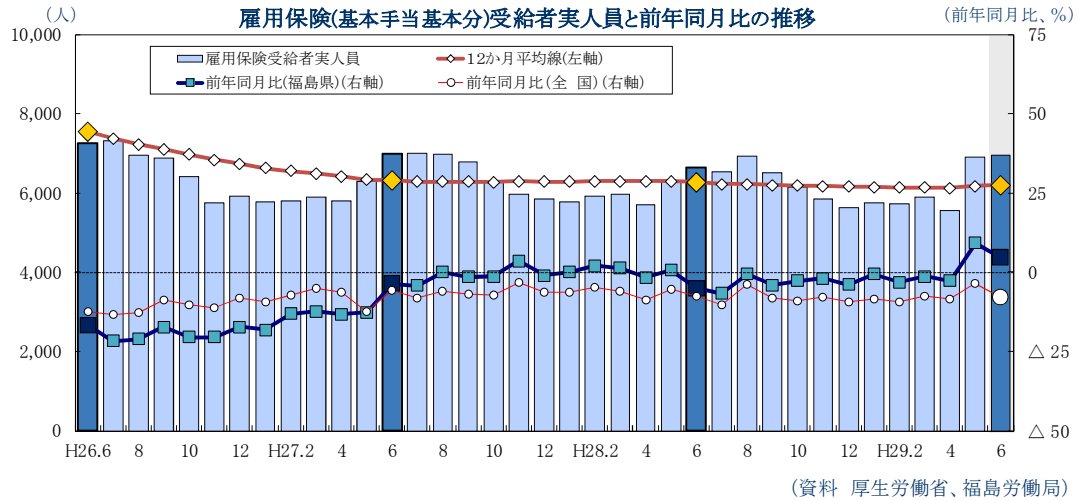


(資料 厚生労働省、福島労働局)

【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

◆ 雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員(6月)は6,942人、対前年同月比4.7%増となり、2か月連続で前年を上回っている。



【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きまします。

◆ 現金給与総額指数(名目)(6月)は133.9(事業所規模5人以上)、対前年同月比1.4%増となった。なお、事業所規模30人以上は147.2、対前年同月比0.2%増となった。



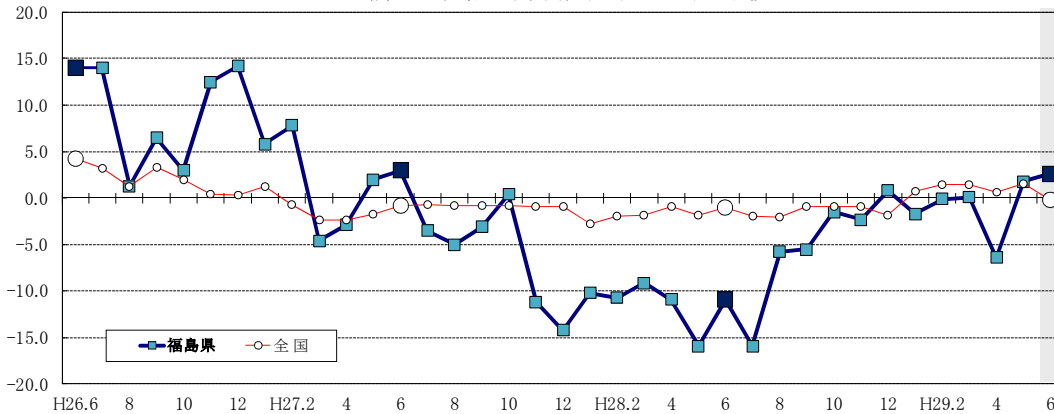
【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払ったものをすべて合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

◆ 所定外労働時間指数(6月)は90.0、対前年同月比2.6%増となっている。

(前年同月比、%)

所定外労働時間指数(前年同月比)の推移



(資料 厚生労働省、福島県統計課)

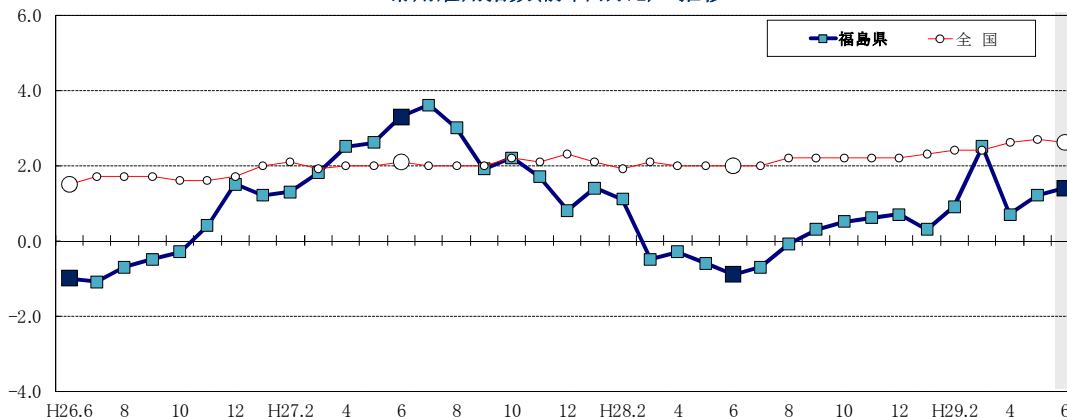
【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(6月)は101.5、対前年同月比1.4%増となっている。

(前年同月比、%)

常用雇用指数(前年同月比)の推移



(資料 厚生労働省、福島県統計課)

【常用雇用指数】

常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含みます。これを基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

< 毎月勤労統計(常用労働者)…次のいずれかに該当する者 >

① 期間を定めずに、又は1か月を超える期間を定めて雇われている

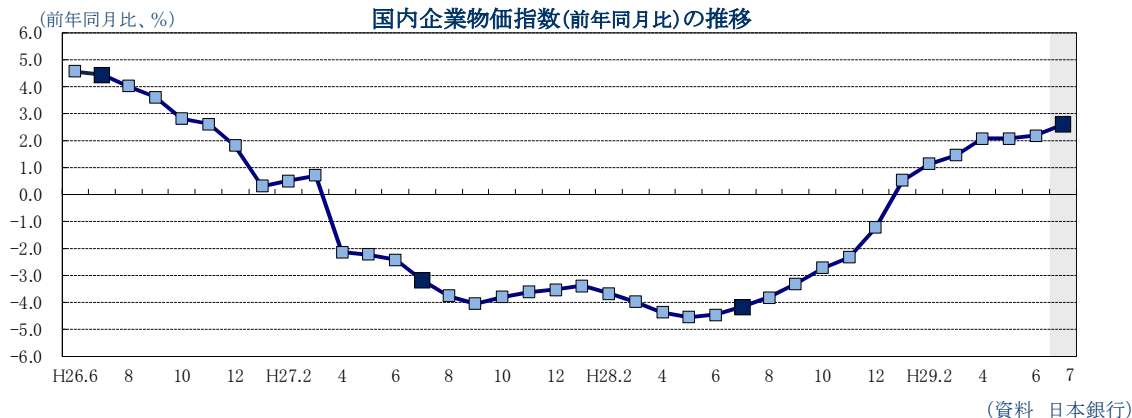
② 日々又は1か月以内の期間を定めて雇われている者のうち、調査期間の前2か月にそれぞれ18日以上雇い入れられた者

< 雇用保険の適用条件 >

① 1週間の所定労働時間が20時間以上 ② 31日以上雇用見込みがある

(5) 物価

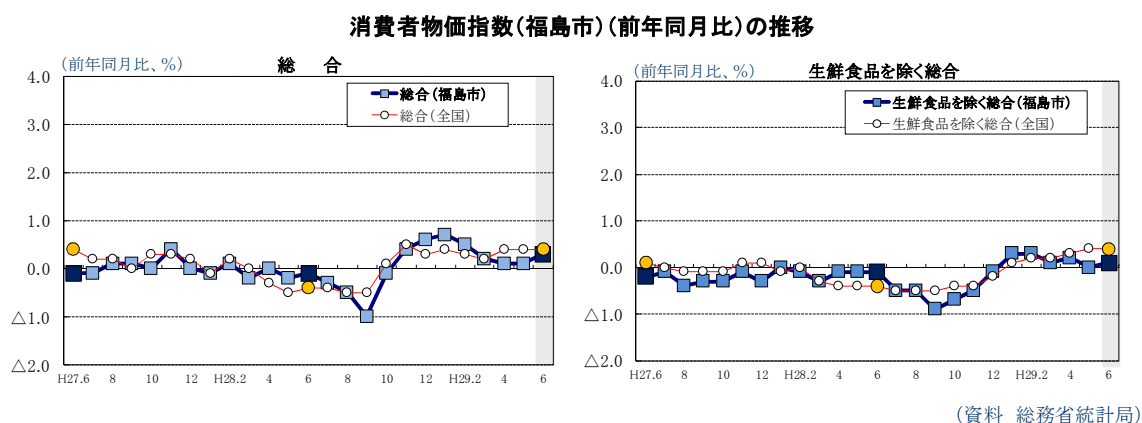
- ◆ **国内企業物価指数(7月)は98.8(速報値)、対前年同月比2.6%増となり、7か月連続で前年を上回っている。**
 なお、対前月比は0.3%増となり、2か月連続で前月を上回っている。



【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

- ◆ **福島市消費者物価指数(総合)(6月)は100.4、対前年同月比0.3%増となり、8か月連続で前年を上回った。** なお、対前月比は0.0%となっている。
 生鮮食品を除く総合では100.1、対前年同月比は0.1%増となっている。
 また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合では100.6、対前年同月比は0.4%減となっている。

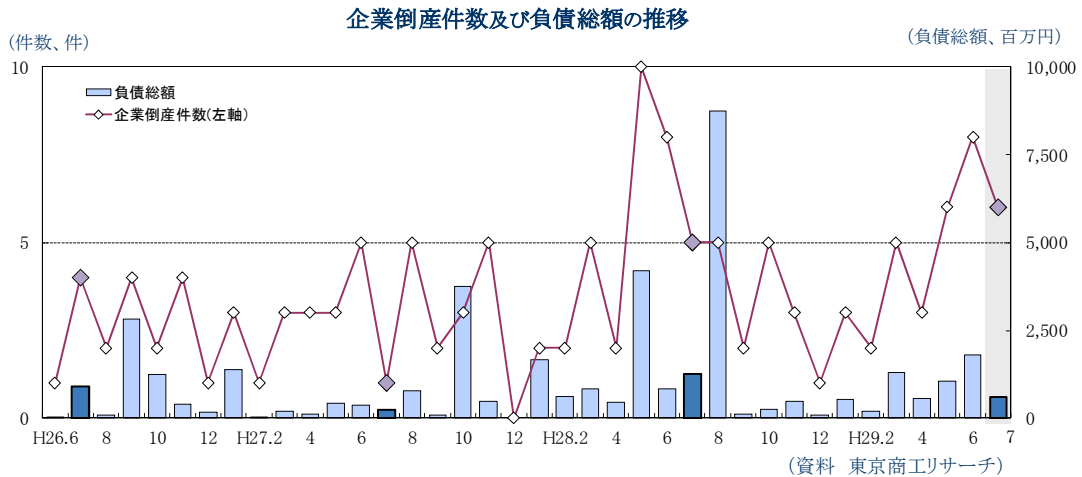


【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100(平成27年=100)と固定して、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向が見えにくくなるので「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすことがあります。

(6) 企業・金融

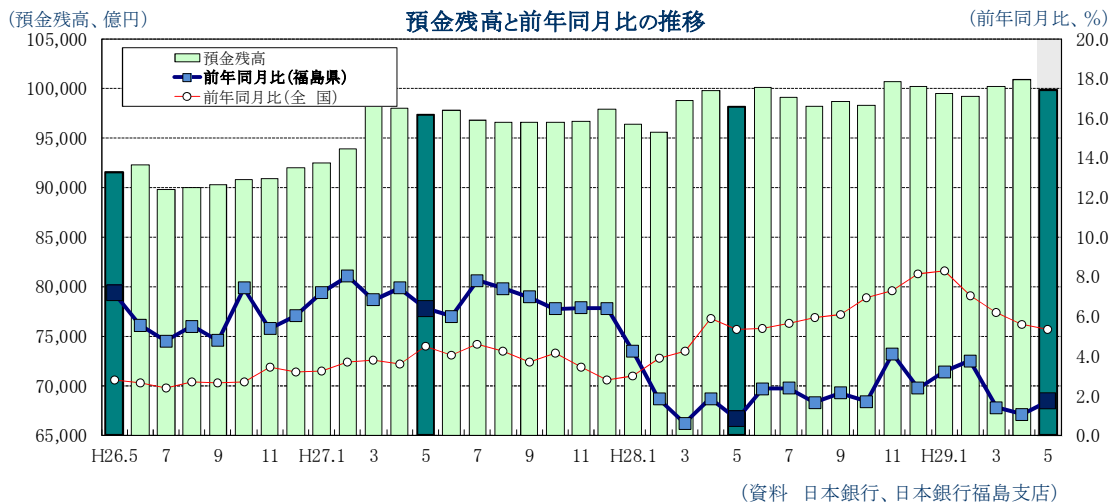
◆ **企業倒産(7月)**は、件数が**6件**、対前年同月比**20.0%増**となり、**2か月振りに前年を上回っている**。また、負債総額は**6億1,000万円**、対前年同月比**51.2%減**となり、**2か月振りに前年を下回っている**。
倒産件数を業種別にみると、製造業が4件、卸売業及びサービス業他が各1件となっている。



【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

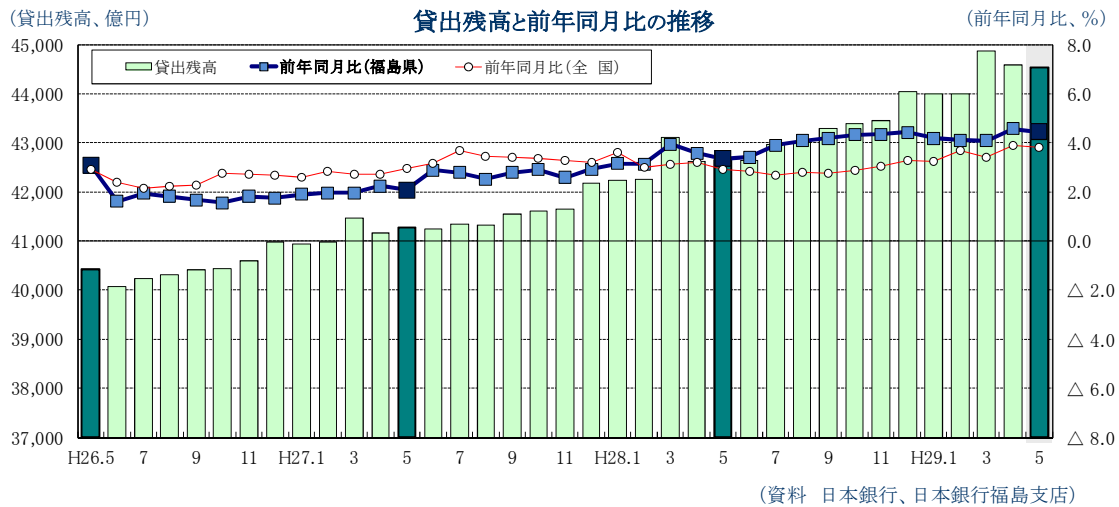
◆ **金融機関預金残高(5月)**は**総額9兆9,802億円**、対前年同月比**1.7%増**となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。



【預金残高】

預金残高の増減率は金融機関の信用力を示します。経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金流出します。法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します。増加する理由には逆のことがいえます。

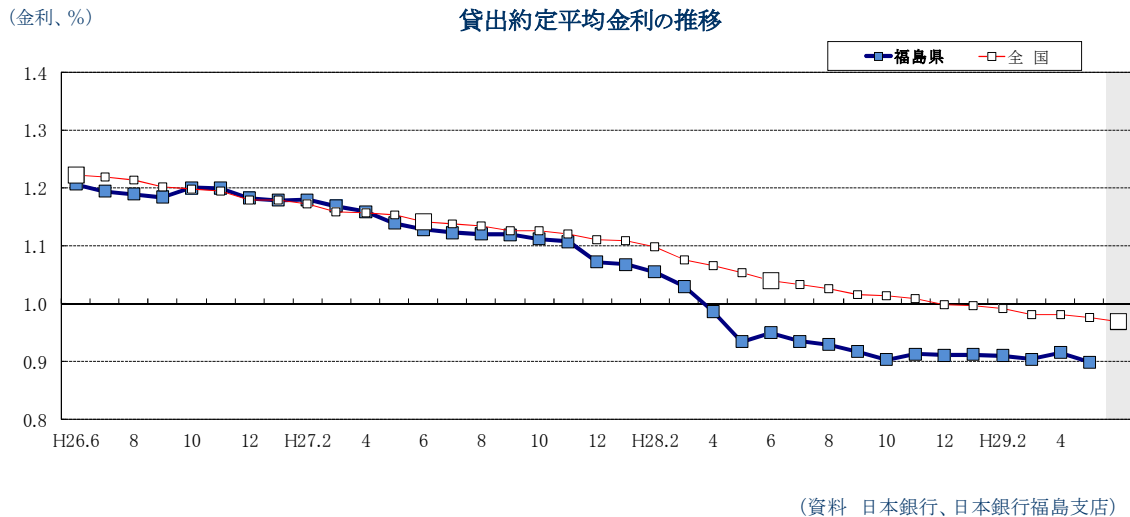
◆ **金融機関貸出残高(5月)**は総額4兆4,543億円、対前年同月比**4.4%増**となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。



【貸出残高】

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ **貸出約定平均金利(5月)**は、**0.899%**、対前月差**0.016ポイント**下降し、2か月振りに前月を下回っている。

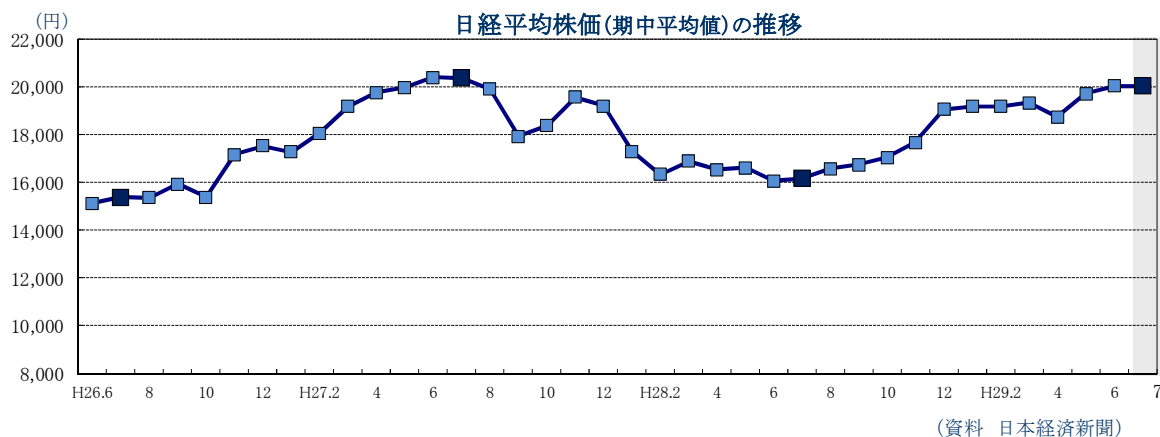


【貸出約定平均金利】

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したものです。銀行融資の金利が現実にはどのくらいになっているかを示す指標です。

(7) 市場

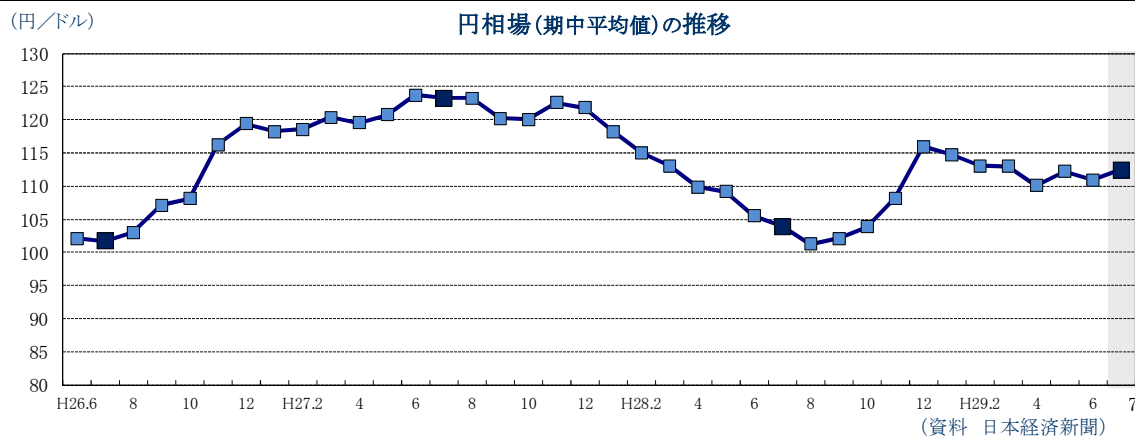
◆ 日経平均株価(7月)は20,044円86銭(期中平均値)、前月より77銭安となり、3か月振りに前月を下回っている。



【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所第一部に上場している225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

◆ 円相場(7月)は112円44銭(期中平均値)、前月より1円53銭円安となっている。



【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がります。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をします。「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となり、一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場は、日本経済全体に多大な影響を与えるため、政府・日銀が介入する場合があります。

3 主要経済指標

区分	個人消費								建設需要			
	1 百貨店・スーパー販売額				2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額			
	福島県		全国		福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国		
年月	全店舗	既存店	全店舗	既存店	(台)	(千台)	(戸)	(戸)	(百万円)	(億円)		
	(百万円)	(百万円)	(億円)	(億円)								
平成26年	251,115	-	201,973	-	80,329	4,700	15,165	892,261	1,003,738	145,222		
27年	253,955	-	200,491	-	69,615	4,216	15,568	909,299	796,151	139,678		
28年	252,711	-	195,979	-	67,941	4,146	18,422	967,237	857,830	145,395		
28年 II	61,728	-	47,121	-	14,999	889	4,943	247,079	254,062	47,032		
III	61,669	-	47,469	-	15,758	1,024	4,833	253,072	243,086	40,807		
IV	66,790	-	53,125	-	16,144	989	4,701	250,696	200,310	28,007		
29年 I	61,389	-	47,548	-	22,545	1,341	3,280	223,290	160,367	29,549		
II	61,094	-	47,158	-	16,764	1,006	3,529	249,916	217,877	48,251		
28年 3月	21,415	-	16,463	-	9,191	532	1,455	75,744	81,689	13,395		
4月	20,333	-	15,460	-	4,699	269	1,863	82,398	69,298	20,301		
5月	21,325	-	15,982	-	4,621	276	1,606	78,728	90,869	11,453		
6月	20,070	-	15,679	-	5,679	344	1,474	85,953	93,895	15,278		
7月	21,196	-	17,214	-	5,346	348	1,676	85,208	52,623	13,618		
8月	21,386	-	15,545	-	4,341	279	1,710	82,242	107,701	12,473		
9月	19,087	-	14,710	-	6,071	397	1,447	85,622	82,762	14,716		
10月	20,736	-	15,970	-	5,252	315	1,739	87,239	68,888	11,273		
11月	20,434	-	16,479	-	5,822	342	1,399	85,051	46,873	8,220		
12月	25,619	-	20,676	-	5,070	333	1,563	78,406	84,549	8,514		
29年 1月	21,327	-	16,743	-	5,731	343	975	76,491	57,473	6,997		
2月	18,921	-	14,493	-	6,463	413	1,132	70,912	42,569	7,693		
3月	21,141	-	16,312	-	10,351	584	1,173	75,887	60,325	14,859		
4月	20,188	-	15,583	-	5,010	297	1,465	83,979	51,925	20,646		
5月	20,942	-	15,881	-	5,166	312	1,068	78,481	70,878	12,421		
6月	19,964	-	15,694	-	6,588	396	996	87,456	95,074	15,185		
7月	-	-	-	-	5,492	357	-	-	48,833	12,888		

	対前年同月(期)比(%)											
平成26年	3.5	1.2	1.7	0.9	0.6	3.0	0.4	9.0	10.3	0.3		
27年	2.6	0.7	1.3	0.4	13.3	10.3	2.7	1.9	20.7	3.8		
28年	0.9	0.6	0.4	0.9	2.4	1.6	18.3	6.4	7.7	4.1		
28年 II	1.2	1.2	0.9	1.4	2.2	2.1	13.7	4.9	4.6	4.0		
III	△ 0.5	△ 0.5	△ 1.6	△ 2.0	△ 0.2	△ 0.3	17.0	7.1	34.0	6.8		
IV	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.9	2.1	5.6	12.4	7.9	11.2	4.5		
29年 I	△ 1.8	△ 1.8	△ 1.5	△ 1.5	7.2	7.8	△ 16.9	3.2	△ 4.8	9.9		
II	△ 1.0	△ 1.0	0.1	0.2	11.8	13.2	△ 28.6	1.1	△ 14.2	2.6		
28年 3月	1.2	0.7	△ 0.2	△ 1.2	△ 14.0	△ 9.3	53.6	8.4	△ 13.2	5.0		
4月	2.2	2.3	△ 0.1	△ 0.7	3.3	2.2	49.6	9.0	△ 21.1	10.6		
5月	0.7	0.7	△ 1.9	△ 2.1	△ 2.6	△ 1.4	11.1	9.8	63.2	1.4		
6月	0.7	0.7	△ 0.7	△ 1.4	△ 6.0	△ 5.6	△ 11.1	△ 2.5	△ 23.4	1.8		
7月	2.3	2.3	0.9	0.7	1.3	2.2	18.9	8.9	△ 22.2	6.9		
8月	△ 1.8	△ 1.8	△ 3.2	△ 3.6	1.0	2.9	29.4	2.5	75.7	12.0		
9月	△ 2.0	△ 2.0	△ 2.7	△ 3.2	△ 2.4	△ 0.7	3.3	10.0	57.6	18.1		
10月	0.8	0.8	△ 0.6	△ 1.0	△ 1.6	△ 0.2	19.6	13.1	△ 5.5	10.0		
11月	0.4	0.4	△ 0.1	△ 0.3	3.3	8.8	13.6	6.7	△ 22.5	5.7		
12月	△ 1.3	△ 1.3	△ 1.2	△ 1.3	4.7	8.1	4.3	3.9	80.9	5.3		
29年 1月	△ 0.9	△ 0.9	△ 1.0	△ 1.1	3.1	4.4	△ 15.3	12.8	△ 8.5	7.1		
2月	△ 3.4	△ 3.4	△ 2.6	△ 2.7	2.8	8.2	△ 15.5	△ 2.6	78.0	10.4		
3月	△ 1.3	△ 1.3	△ 0.9	△ 0.8	12.6	9.6	△ 19.4	0.2	△ 26.2	10.9		
4月	△ 0.7	△ 0.7	0.8	1.1	6.6	10.4	△ 21.4	1.9	△ 25.1	1.7		
5月	△ 1.8	△ 1.8	△ 0.6	△ 0.6	11.8	13.4	△ 33.5	△ 0.3	△ 22.0	8.5		
6月	△ 0.5	△ 0.5	0.1	0.2	16.0	15.1	△ 32.4	1.7	1.3	0.6		
7月	-	-	-	-	2.7	2.6	-	-	△ 7.2	5.4		
備考	旧大型小売店販売額				乗用車、軽自動車の計		持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計		年表示は、年度ベース 国の機関と地方の機関の計			
資料	経済産業省「商業動態統計」				(一社)日本自動車販売協会連合会「統計データ」		国土交通省「住宅着工統計」		東日本建設保証㈱「公共工事前払金保証統計」			
出所	東北経済産業局「東北地域百貨店・スーパー販売額動向」				同連合会福島県支部 資料							

※四半期値のI期は1～3月期、II期は4～6月期、III期は7～9月期、IV期は10～12月期を表す。

区分	建設需要		生産活動											
	5業務用建築物 着工棟数		6 鉱工業生産指数				7 鉱工業出荷指数				8 鉱工業在庫指数			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
年月	福島県	全国	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値
	(棟)	(棟)												
平成26年	2,306	86,187	92.7	99.0	-	-	91.8	98.2	-	-	102.4	109.5	-	-
27年	2,323	83,466	88.1	97.8	-	-	84.3	96.9	-	-	99.5	113.0	-	-
28年	2,138	83,756	85.1	97.7	-	-	82.1	96.3	-	-	103.9	110.9	-	-
28年 II	541	20,964	83.1	94.3	85.4	96.5	80.1	91.6	82.5	95.3	103.4	110.5	105.8	112.6
III	580	22,515	83.3	98.2	83.7	98.0	80.9	96.5	81.4	96.3	104.6	112.4	103.5	110.3
IV	539	21,819	84.9	100.5	84.1	99.8	82.3	99.5	82.4	98.6	101.3	108.5	100.9	107.5
29年 I	445	18,794	84.8	101.3	83.0	100.0	82.1	101.1	79.7	98.5	99.6	107.2	98.6	108.4
II	508	21,929	83.4	99.8	85.5	102.1	81.4	96.4	83.4	100.0	91.2	108.5	93.3	110.6
28年 3月	135	6,124	96.1	108.2	85.4	96.4	92.5	110.1	81.6	95.1	106.0	106.1	106.5	114.2
4月	198	6,652	82.2	92.9	87.8	96.8	80.0	90.0	84.5	95.4	103.8	106.9	106.6	112.6
5月	147	6,599	78.1	89.3	84.0	95.6	74.9	86.6	81.3	94.7	104.4	112.0	106.7	112.8
6月	196	7,713	89.1	100.6	84.4	97.0	85.5	98.3	81.6	95.7	101.9	112.7	104.1	112.4
7月	189	7,732	85.2	98.7	83.4	97.0	82.2	96.4	80.5	96.0	102.8	113.0	103.4	110.5
8月	181	7,347	78.9	92.5	83.9	98.3	77.0	89.7	82.2	96.2	105.7	114.4	103.5	110.5
9月	210	7,436	85.7	103.5	83.9	98.6	83.5	103.5	81.4	96.8	105.2	109.7	103.7	109.9
10月	178	7,531	83.7	98.9	83.8	98.9	80.7	97.1	81.1	97.9	103.0	110.0	103.0	108.5
11月	209	7,421	86.7	101.7	85.0	99.9	83.5	100.7	83.6	98.9	99.4	109.1	100.3	106.6
12月	152	6,867	84.2	100.8	83.6	100.6	82.7	100.6	82.4	98.9	101.4	106.4	99.4	107.3
29年 1月	162	6,285	77.5	93.1	81.8	98.5	74.5	92.0	78.0	97.8	102.0	110.4	100.2	107.4
2月	139	6,504	81.6	98.9	82.6	101.7	79.3	97.5	79.4	99.2	100.3	109.3	98.8	108.1
3月	144	6,005	95.2	112.0	84.6	99.8	92.5	113.9	81.6	98.4	96.4	101.9	96.9	109.7
4月	191	7,304	81.9	98.2	88.4	103.8	80.8	94.4	85.5	101.1	91.6	105.7	94.1	111.3
5月	162	6,686	80.8	95.1	85.1	100.1	78.0	91.3	83.0	98.2	91.7	110.5	93.7	111.3
6月	155	7,939	87.5	106.1	82.9	102.3	85.5	103.5	81.6	100.7	90.3	109.4	92.2	109.1
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前年同月(期)比(%)				対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比	
	△	▲	△	▲			△	▲	△	▲	△	▲	△	▲
平成26年	△ 4.8	△ 2.8	△ 3.0	△ 2.1	-	-	△ 3.4	△ 1.3	-	-	△ 4.1	△ 2.0	-	-
27年	△ 0.7	△ 3.2	△ 5.0	△ 1.2	-	-	△ 8.2	△ 1.3	-	-	△ 2.8	△ 3.2	-	-
28年	△ 8.0	△ 0.3	△ 3.4	△ 0.1	-	-	△ 2.6	△ 0.6	-	-	△ 4.4	△ 1.9	-	-
28年 II	△ 11.0	△ 1.6	△ 2.4	△ 1.8	△ 2.0	0.3	△ 1.5	△ 1.9	△ 0.2	0.5	△ 8.8	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
III	△ 11.2	△ 0.3	△ 5.0	△ 0.4	△ 2.0	1.6	△ 3.1	△ 0.5	△ 1.3	1.0	△ 3.9	△ 2.4	△ 2.2	△ 2.0
IV	△ 13.2	△ 3.9	△ 3.5	△ 2.1	△ 0.5	1.8	△ 1.4	△ 1.8	△ 1.2	2.4	△ 1.7	△ 4.8	△ 2.5	△ 2.5
29年 I	△ 6.9	△ 1.8	△ 4.9	△ 3.8	△ 1.3	0.2	△ 3.5	△ 3.7	△ 3.3	△ 0.1	△ 6.3	△ 4.3	△ 2.3	0.8
II	△ 6.1	△ 4.6	△ 0.4	△ 5.8	△ 3.0	2.1	△ 1.6	△ 5.2	△ 4.6	△ 1.5	△ 11.8	△ 1.8	△ 5.4	△ 2.0
28年 3月	△ 22.9	△ 2.5	△ 4.2	△ 0.4	△ 1.3	1.2	△ 4.8	△ 0.4	△ 0.1	1.3	△ 9.8	△ 1.1	△ 1.1	△ 1.6
4月	△ 21.5	△ 6.3	△ 2.6	△ 3.2	△ 2.8	0.4	△ 2.0	△ 3.1	△ 3.6	0.3	△ 11.6	△ 0.5	△ 0.1	△ 1.4
5月	△ 4.5	△ 5.1	△ 1.0	△ 0.6	△ 4.3	△ 1.2	△ 0.0	△ 0.9	△ 3.8	△ 0.7	△ 10.0	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.2
6月	△ 32.6	△ 2.7	△ 3.3	△ 1.6	△ 0.5	1.5	△ 2.1	△ 1.6	△ 0.4	1.1	△ 4.8	△ 0.5	△ 2.4	△ 0.4
7月	△ 17.1	△ 2.9	△ 10.3	△ 4.2	△ 1.2	0.0	△ 8.7	△ 3.8	△ 1.3	0.3	△ 4.6	△ 2.4	△ 0.7	△ 1.7
8月	△ 3.2	△ 0.5	△ 2.6	△ 4.5	△ 0.6	1.3	△ 0.7	△ 1.8	△ 2.1	0.2	△ 4.4	△ 2.1	△ 0.1	△ 0.0
9月	△ 11.8	△ 2.6	△ 1.7	△ 1.5	△ 0.0	0.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 1.0	0.6	△ 2.5	△ 2.7	△ 0.2	△ 0.5
10月	△ 6.6	△ 8.8	△ 6.3	△ 1.2	△ 0.1	0.3	△ 5.6	△ 1.8	△ 0.4	1.1	△ 5.1	△ 3.6	△ 0.7	△ 1.3
11月	△ 4.5	△ 2.6	△ 0.0	△ 4.4	△ 1.4	1.0	△ 2.8	△ 5.0	△ 3.1	1.0	△ 5.3	△ 5.5	△ 2.6	△ 1.8
12月	△ 40.2	△ 0.4	△ 4.3	△ 3.1	△ 1.6	0.7	△ 1.3	△ 2.4	△ 1.4	0.0	△ 4.6	△ 5.3	△ 0.9	△ 0.7
29年 1月	△ 1.8	△ 0.8	△ 6.5	△ 3.2	△ 2.2	△ 2.1	△ 5.2	△ 4.2	△ 5.3	△ 1.1	△ 3.8	△ 5.0	△ 0.8	△ 0.1
2月	△ 21.9	△ 6.6	△ 7.9	△ 4.7	△ 1.0	3.2	△ 5.8	△ 3.7	△ 1.8	1.4	△ 6.2	△ 3.9	△ 1.4	△ 0.7
3月	△ 6.7	△ 1.9	△ 0.9	△ 3.5	△ 2.4	△ 1.9	△ 0.0	△ 3.5	△ 2.8	△ 0.8	△ 9.1	△ 4.0	△ 1.9	△ 1.5
4月	△ 3.5	△ 9.8	△ 0.4	△ 5.7	△ 4.5	△ 4.0	△ 1.0	△ 4.9	△ 4.8	△ 2.7	△ 11.8	△ 1.1	△ 2.9	△ 1.5
5月	△ 10.2	△ 1.3	△ 3.5	△ 6.5	△ 3.7	△ 3.6	△ 4.1	△ 5.4	△ 2.9	△ 2.9	△ 12.2	△ 1.3	△ 0.4	△ 0.0
6月	△ 20.9	△ 2.9	△ 1.8	△ 5.5	△ 2.6	△ 2.2	△ 0.0	△ 5.3	△ 1.7	△ 2.5	△ 11.4	△ 2.9	△ 1.6	△ 2.0
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの		福島県：平成22年=100 全国：平成22年=100				福島県：平成22年=100 全国：平成22年=100				福島県：平成22年=100 全国：平成22年=100			
資料 出所	国土交通省「建築着工統計」		福島県統計調査課「福島県鉱工業指数月報」 経済産業省「鉱工業指数」											

区分	雇用・労働							
	9 新規求人倍率		10 有効求人倍率		11 有効求人数		12 有効求職者数	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	(人)	(千人)	(人)	(千人)
平成26年	1.92	1.66	1.41	1.09	43,026	2,277	30,438	2,093
27年	1.96	1.80	1.46	1.20	43,059	2,374	29,569	1,979
28年	1.91	2.04	1.42	1.36	41,784	2,530	29,417	1,866
28年 II	1.96	2.04	1.45	1.35	41,060	2,482	31,201	1,993
III	1.83	2.07	1.39	1.37	40,577	2,508	29,419	1,843
IV	1.96	2.15	1.42	1.41	42,447	2,581	27,719	1,752
29年 I	1.99	2.13	1.46	1.44	43,883	2,708	29,123	1,792
II	1.96	2.23	1.47	1.49	42,061	2,641	31,721	1,910
28年 3月	1.86	1.94	1.41	1.31	44,085	2,646	31,590	1,964
4月	2.05	2.04	1.46	1.33	41,891	2,524	31,916	2,034
5月	1.93	2.06	1.47	1.35	40,034	2,450	31,115	1,996
6月	1.90	2.03	1.43	1.36	41,256	2,472	30,571	1,948
7月	1.80	2.03	1.41	1.37	40,307	2,460	29,483	1,863
8月	1.81	2.07	1.39	1.37	40,084	2,500	29,233	1,836
9月	1.88	2.10	1.38	1.38	41,340	2,563	29,540	1,830
10月	2.00	2.11	1.41	1.40	42,777	2,613	28,949	1,824
11月	1.96	2.15	1.44	1.41	43,373	2,610	27,863	1,767
12月	1.92	2.19	1.41	1.43	41,190	2,520	26,345	1,665
29年 1月	2.00	2.13	1.44	1.43	41,639	2,592	27,236	1,716
2月	2.09	2.12	1.45	1.43	44,065	2,725	28,765	1,780
3月	1.88	2.13	1.48	1.45	45,946	2,807	31,367	1,880
4月	1.89	2.13	1.48	1.48	42,844	2,677	32,095	1,940
5月	2.09	2.31	1.47	1.49	41,367	2,615	31,954	1,921
6月	1.89	2.25	1.45	1.51	41,973	2,632	31,114	1,869
7月	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前月(期)(ポイント)				対前年同月(期)比(%)			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
平成26年	0.19	0.20	0.17	0.16	4.0	7.3	△ 8.5	△ 8.7
27年	0.04	0.14	0.05	0.11	0.1	4.3	△ 2.9	△ 5.4
28年	△ 0.05	0.24	△ 0.04	0.16	△ 3.0	6.6	△ 0.5	△ 5.8
28年 II	0.03	0.07	0.02	0.05	△ 1.8	7.7	△ 2.0	△ 6.4
III	△ 0.13	0.03	△ 0.06	0.02	△ 6.4	6.1	△ 0.4	△ 5.8
IV	0.13	0.08	0.03	0.04	△ 1.4	5.7	△ 0.7	△ 5.9
29年 I	0.03	△ 0.02	0.04	0.03	1.9	6.2	△ 0.7	△ 4.4
II	△ 0.03	0.10	0.01	0.05	2.4	6.4	△ 1.7	△ 4.1
28年 3月	△ 0.03	△ 0.02	△ 0.01	0.02	△ 3.4	6.7	△ 0.7	△ 5.1
4月	0.19	0.10	0.05	0.02	△ 2.2	7.0	△ 3.3	△ 6.9
5月	△ 0.12	0.02	0.01	0.02	△ 2.2	8.5	△ 1.3	△ 5.8
6月	△ 0.03	△ 0.03	△ 0.04	0.01	△ 0.9	7.7	△ 1.3	△ 6.5
7月	△ 0.10	0.00	△ 0.02	0.01	△ 6.0	5.4	△ 0.2	△ 6.9
8月	0.01	0.04	△ 0.02	0.00	△ 7.2	6.2	0.1	△ 5.5
9月	0.07	0.03	△ 0.01	0.01	△ 5.9	6.7	1.2	△ 4.9
10月	0.12	0.01	0.03	0.02	△ 2.7	5.4	△ 1.5	△ 6.1
11月	△ 0.04	0.04	0.03	0.01	△ 0.0	5.9	△ 0.0	△ 5.4
12月	△ 0.04	0.04	△ 0.03	0.02	△ 1.4	5.8	△ 0.7	△ 6.0
29年 1月	0.08	△ 0.06	0.03	0.00	△ 0.1	6.8	0.3	△ 4.1
2月	0.09	△ 0.01	0.01	0.00	1.6	5.9	△ 1.6	△ 4.9
3月	△ 0.21	0.01	0.03	0.02	4.2	6.1	△ 0.7	△ 4.3
4月	0.01	0.00	0.00	0.03	2.3	6.0	0.6	△ 4.6
5月	0.20	0.18	△ 0.01	0.01	3.3	6.7	2.7	△ 3.7
6月	△ 0.20	△ 0.06	△ 0.02	0.02	1.7	6.5	1.8	△ 4.0
7月	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	学卒を除きパートを含む。 新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均							
資料 出所	福島労働局職業安定部「最近の雇用失業情勢について」、「雇用失業情勢」							

区分	雇用・労働										物価
	13 雇用保険受給者 実人員		14 現金給与総額 指数(名目)		15 所定外労働 時間指数		16 常用雇用指数		17 パートタイム 労働者比率		18 国内企業 物価指数
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国
	(人)	(千人)							(%)	(%)	
平成26年	6,734	476	100.6	100.0	102.6	101.0	97.8	98.0	23.3	29.8	102.4
27年	6,282	442	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	23.4	30.5	100.0
28年	6,155	409	99.8	100.6	91.8	98.5	100.1	102.1	23.1	30.7	96.5
28年 II	6,214	403	100.9	103.5	89.2	98.2	100.2	102.0	23.1	30.4	96.4
III	6,652	441	96.6	96.8	88.9	96.1	100.2	102.7	22.6	30.7	96.1
IV	5,870	395	117.0	115.9	99.0	101.2	100.7	103.2	22.9	31.0	96.5
29年 I	5,780	364	86.0	86.3	89.5	99.7	100.6	102.9	22.4	30.8	98.0
II	6,459	376	101.6	103.7	88.5	98.8	101.3	104.7	22.3	30.5	98.4
28年 3月	5,966	390	87.3	88.9	93.0	102.1	97.9	100.2	23.2	30.7	96.8
4月	5,698	369	85.0	87.4	94.6	103.0	100.1	101.6	23.0	30.3	96.4
5月	6,313	407	85.5	85.6	85.4	94.9	100.3	101.9	23.0	30.3	96.4
6月	6,632	433	132.1	137.6	87.7	96.6	100.1	102.4	23.2	30.6	96.4
7月	6,538	428	112.7	119.0	85.4	97.6	100.2	102.6	22.6	30.7	96.3
8月	6,916	462	92.2	86.8	88.4	93.0	100.3	102.7	22.3	30.7	96.0
9月	6,501	433	84.9	84.5	93.0	97.6	100.1	102.7	22.9	30.8	96.1
10月	6,150	412	86.8	85.1	100.0	100.2	100.5	102.9	23.0	30.9	96.0
11月	5,837	397	89.4	87.9	97.7	101.2	100.7	103.2	22.8	31.0	96.4
12月	5,623	377	174.9	174.6	99.3	102.1	100.9	103.4	23.0	31.2	97.1
29年 1月	5,736	372	85.6	86.1	86.2	96.4	100.6	103.2	22.3	30.9	97.7
2月	5,722	359	85.0	83.9	89.2	99.1	101.0	103.0	23.0	30.9	98.0
3月	5,883	360	87.3	88.9	93.1	103.6	100.3	102.6	22.0	30.7	98.2
4月	5,540	338	84.8	87.8	88.5	103.6	100.8	104.2	22.0	30.3	98.4
5月	6,895	392	86.2	86.1	86.9	96.4	101.5	104.7	22.5	30.5	98.4
6月	6,942	399	133.9	137.1	90.0	96.4	101.5	105.1	22.3	30.6	98.5
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98.8

区分	対前年同月(期)比(%)										対前月(期)(ポイント)		対前年同月(期)比(%)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
平成26年	△ 17.4	△ 13.1	△ 3.3	0.4	△ 12.1	△ 4.0	△ 0.4	1.5	0.4	0.4	3.2			
27年	△ 6.7	△ 7.1	△ 0.6	0.1	△ 2.5	△ 1.0	△ 2.2	2.1	0.1	0.7	2.3			
28年	△ 2.0	△ 7.3	△ 0.2	0.5	△ 8.2	△ 1.5	△ 0.1	2.1	△ 0.3	0.2	3.5			
28年 II	△ 2.2	△ 7.3	△ 0.2	0.6	△ 12.5	△ 1.2	△ 0.6	2.0	△ 0.6	△ 0.3	4.5			
III	△ 3.8	△ 7.4	△ 0.3	0.5	△ 9.2	△ 1.5	△ 0.2	2.2	△ 0.5	0.3	3.8			
IV	△ 2.9	△ 8.8	△ 1.7	0.4	△ 1.0	△ 1.2	△ 0.6	2.2	△ 0.3	0.3	2.1			
29年 I	△ 1.7	△ 8.5	△ 1.1	0.2	△ 0.5	△ 1.2	△ 1.2	2.4	△ 0.5	△ 0.2	1.0			
II	△ 3.9	△ 6.6	△ 0.8	0.1	△ 0.8	△ 0.6	△ 1.1	2.7	△ 0.1	△ 0.3	2.1			
28年 3月	△ 1.3	△ 6.0	△ 4.3	1.5	△ 9.1	△ 1.8	△ 0.5	2.1	△ 0.8	△ 0.0	4.0			
4月	△ 1.6	△ 8.9	△ 2.7	0.0	△ 10.9	△ 0.9	△ 0.3	2.0	△ 0.2	△ 0.4	4.4			
5月	△ 0.6	△ 5.6	△ 0.0	△ 0.1	△ 15.9	△ 1.8	△ 0.6	2.0	0.0	0.0	4.6			
6月	△ 5.1	△ 7.5	△ 2.3	1.4	△ 10.9	△ 1.0	△ 0.9	2.0	0.2	0.2	4.5			
7月	△ 6.7	△ 10.5	△ 2.1	1.2	△ 15.9	△ 1.9	△ 0.7	2.0	△ 0.6	0.1	4.2			
8月	△ 0.7	△ 3.8	△ 4.6	0.0	△ 5.8	△ 2.0	△ 0.1	2.2	△ 0.3	0.0	3.8			
9月	△ 4.1	△ 8.1	△ 0.7	0.0	△ 5.5	△ 0.9	△ 0.3	2.2	0.6	0.1	3.3			
10月	△ 2.7	△ 9.3	△ 2.8	0.1	△ 1.5	△ 0.9	△ 0.5	2.2	0.1	0.1	2.7			
11月	△ 2.0	△ 7.9	△ 2.3	0.5	△ 2.3	△ 0.9	△ 0.6	2.2	△ 0.2	0.1	2.3			
12月	△ 3.9	△ 9.4	△ 3.5	0.5	△ 0.8	△ 1.8	△ 0.7	2.2	0.2	0.2	1.2			
29年 1月	△ 0.5	△ 8.6	△ 1.4	0.3	△ 1.7	△ 0.7	△ 0.3	2.3	△ 0.7	△ 0.3	0.5			
2月	△ 3.2	△ 9.3	△ 2.5	0.4	△ 0.1	△ 1.5	△ 0.9	2.4	0.7	0.1	1.1			
3月	△ 1.4	△ 7.7	△ 0.0	0.0	△ 0.1	△ 1.5	△ 2.5	2.4	△ 1.0	△ 0.2	1.4			
4月	△ 2.8	△ 8.4	△ 0.2	0.5	△ 6.4	△ 0.6	△ 0.7	2.6	0.0	△ 0.4	2.1			
5月	△ 9.2	△ 3.7	△ 0.8	0.6	△ 1.8	△ 1.6	△ 1.2	2.7	0.5	0.1	2.1			
6月	△ 4.7	△ 7.9	△ 1.4	△ 0.4	△ 2.6	△ 0.2	△ 1.4	2.6	△ 0.2	0.1	2.2			
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6			
備考	四半期値は各期ごとの平均		全産業5人以上 平成27年=100										平成27年=100 総平均	
資料 出所	福島県統計調査課「福島県の賃金、労働時間及び雇用の動き」 厚生労働省「毎月勤労統計」										日本銀行「企業 物価指数」			

区分	物価				企業・金融							
	19 消費者物価指数				20 企業倒産				21 金融機関預貸残高			
	福島市		全 国		福島県		全 国		福島県		全 国	
年月	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高
					(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)
平成26年	99.2	99.5	99.2	99.5	31	7,332	9,731	18,741	91,955	40,973	66,084	46,115
27年	100.0	100.0	100.0	100.0	34	7,824	8,812	21,124	97,836	42,173	67,911	47,594
28年	99.9	99.7	99.9	99.7	50	19,567	8,446	20,063	100,148	44,039	73,434	49,157
28年 II	100.2	100.1	99.9	99.8	20	5,501	2,129	3,274	100,032	42,643	71,538	47,801
III	99.7	99.6	99.7	99.6	12	10,106	2,087	3,351	98,609	43,283	71,806	48,336
IV	100.2	99.7	100.3	99.8	9	849	2,086	8,774	100,148	44,039	73,434	49,157
29年 I	99.8	99.5	99.9	99.7	10	2,046	2,079	4,111	100,106	44,864	74,850	49,637
II	100.4	100.1	100.3	100.2	17	3,408	2,188	17,993	-	-	-	-
28年 3月	99.6	99.5	99.7	99.5	5	844	746	1,759	98,735	43,105	70,481	48,004
4月	100.2	100.0	99.9	99.8	2	460	695	1,033	99,790	42,630	71,353	47,544
5月	100.3	100.2	100.0	99.9	10	4,197	671	1,159	98,113	42,650	71,495	47,597
6月	100.1	100.0	99.9	99.8	8	844	763	1,082	100,032	42,643	71,538	47,801
7月	99.7	99.7	99.6	99.6	5	1,250	712	1,240	99,049	42,960	71,197	47,832
8月	99.8	99.7	99.7	99.6	5	8,752	726	1,260	98,148	43,001	71,327	47,890
9月	99.6	99.5	99.8	99.6	2	104	649	851	98,609	43,283	71,806	48,336
10月	100.2	99.7	100.4	99.8	5	258	683	1,112	98,223	43,397	72,021	48,228
11月	100.3	99.7	100.4	99.8	3	489	693	5,945	100,641	43,458	72,863	48,564
12月	100.2	99.8	100.1	99.8	1	102	710	1,717	100,148	44,039	73,434	49,157
29年 1月	99.9	99.5	100.0	99.6	3	532	605	1,285	99,455	43,998	73,416	49,030
2月	99.8	99.4	99.8	99.6	2	200	688	1,158	99,162	43,990	73,539	49,087
3月	99.8	99.6	99.9	99.8	5	1,314	786	1,668	100,106	44,864	74,850	49,637
4月	100.3	100.1	100.3	100.1	3	570	680	1,041	100,814	44,580	75,314	49,384
5月	100.4	100.2	100.4	100.3	6	1,052	802	1,069	99,802	44,543	75,316	49,399
6月	100.4	100.1	100.2	100.2	8	1,786	706	15,883	-	-	-	-
7月	-	-	-	-	6	610	714	1,099	-	-	-	-

対前年同月(期)比(%)												
平成26年	3.4	3.3	2.7	2.6	△ 26.2	69.1	△ 10.4	△ 32.6	6.0	1.7	3.2	2.7
27年	0.8	0.5	0.8	0.5	9.7	6.7	△ 9.4	12.7	6.4	2.9	2.8	3.2
28年	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.3	47.1	150.1	△ 4.2	△ 5.0	2.4	4.4	8.1	3.3
28年 II	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	81.8	507.2	△ 7.3	△ 26.8	2.3	3.4	5.4	2.9
III	△ 0.7	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	50.0	818.7	△ 0.2	△ 31.4	2.1	4.2	6.1	2.7
IV	0.3	△ 0.4	0.3	△ 0.3	12.5	△ 79.9	△ 3.1	38.6	2.4	4.4	8.1	3.3
29年 I	0.5	0.2	0.3	0.2	11.1	△ 34.2	△ 3.0	△ 11.8	1.4	4.1	6.2	3.4
II	0.2	0.1	0.4	0.4	△ 15.0	△ 38.0	2.8	449.5	-	-	-	-
28年 3月	△ 0.2	△ 0.3	0.0	△ 0.3	66.7	351.3	△ 13.2	△ 21.3	0.6	3.9	4.2	3.1
4月	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 33.3	300.0	△ 7.1	△ 46.4	1.8	3.6	5.9	3.2
5月	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.4	233.3	916.2	△ 7.3	△ 9.3	0.8	3.4	5.3	2.9
6月	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4	60.0	123.3	△ 7.4	△ 14.7	2.3	3.4	5.4	2.9
7月	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.5	400.0	416.5	△ 9.5	3.3	2.4	3.9	5.6	2.7
8月	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	0.0	1,032.2	14.9	28.8	1.6	4.1	5.9	2.8
9月	△ 1.0	△ 0.9	△ 0.5	△ 0.5	0.0	22.4	△ 3.6	△ 68.6	2.1	4.2	6.1	2.7
10月	△ 0.1	△ 0.7	0.1	△ 0.4	66.7	△ 93.1	△ 8.0	4.7	1.7	4.3	6.9	2.9
11月	0.4	△ 0.5	0.5	△ 0.4	△ 40.0	3.2	△ 2.5	319.7	4.1	4.3	7.3	3.1
12月	0.6	△ 0.1	0.3	△ 0.2	-	-	1.6	△ 55.5	2.4	4.4	8.1	3.3
29年 1月	0.7	0.3	0.4	0.1	50.0	△ 68.1	△ 10.4	1.2	3.2	4.2	8.3	3.2
2月	0.5	0.3	0.3	0.2	0.0	△ 66.7	△ 4.8	△ 29.2	3.7	4.1	7.0	3.7
3月	0.2	0.1	0.2	0.2	0.0	55.7	5.4	△ 5.2	1.4	4.1	6.2	3.4
4月	0.1	0.2	0.4	0.3	50.0	23.9	△ 2.2	0.7	1.0	4.6	5.6	3.9
5月	0.1	0.0	0.4	0.4	△ 40.0	△ 74.9	19.5	△ 7.7	1.7	4.4	5.3	3.8
6月	0.3	0.1	0.4	0.4	0.0	111.6	△ 7.5	1,367.6	-	-	-	-
7月	-	-	-	-	20.0	△ 51.2	0.3	△ 11.4	-	-	-	-
備考	平成27年=100 対前年同月(期)比は旧基準年による公表値				負債総額1,000万円以上				年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫 ・信用組合の計(13銀行、8信金、6信組ベース(県内店舗分))			
資料	総務省統計局「消費者物価指数」				㈱東京商工リサーチ福島支店・郡山支店「福島県企業倒産状況」、㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」				預金残高は実質預金(総預金から切手手形を控除したもの)			
出所									日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」、日本銀行「金融経済統計月報」			

区分	企業・金融		中小企業の業況							市場	
	22 貸出約定平均金利		23 中小企業業況DI							24 株式	25 円相場
年月	福島県	全国	福島県							株価	東京市場 米ドル/ポット
	地元地銀・ 第二地銀	国内銀行	全産業	製造業	非製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	東証株式 (第1部)	
	(%)	(%)								(円)	(円/米ドル)
平成26年	1.182	1.180	-	-	-	-	-	-	-	15,460.43	105.79
27年	1.072	1.110	-	-	-	-	-	-	-	19,203.77	121.09
28年	0.911	0.998	-	-	-	-	-	-	-	16,920.48	108.77
28年 II	0.950	1.039	-	-	-	-	-	-	-	16,393.84	108.07
III	0.917	1.016	-	-	-	-	-	-	-	16,500.01	102.37
IV	0.911	0.998	-	-	-	-	-	-	-	17,951.93	109.43
29年 I	0.904	0.982	-	-	-	-	-	-	-	19,245.01	113.56
II	-	0.969	-	-	-	-	-	-	-	19,520.43	111.06
28年 3月	1.030	1.076	△ 22.5	△ 16.2	△ 28.3	△ 19.6	△ 26.7	△ 35.8	△ 27.0	16,897.34	113.07
4月	0.987	1.066	-	-	-	-	-	-	-	16,543.47	109.88
5月	0.934	1.054	-	-	-	-	-	-	-	16,612.67	109.15
6月	0.950	1.039	△ 23.8	△ 20.4	△ 27.0	△ 7.8	△ 33.8	△ 29.8	△ 30.6	16,068.81	105.49
7月	0.935	1.033	-	-	-	-	-	-	-	16,168.32	103.90
8月	0.929	1.026	-	-	-	-	-	-	-	16,586.07	101.27
9月	0.917	1.016	△ 30.1	△ 26.7	△ 33.1	△ 20.4	△ 42.0	△ 31.0	△ 35.9	16,737.04	102.04
10月	0.903	1.014	-	-	-	-	-	-	-	17,044.51	103.82
11月	0.913	1.009	-	-	-	-	-	-	-	17,689.54	108.18
12月	0.911	0.998	△ 22.5	△ 11.4	△ 32.3	△ 14.6	△ 31.5	△ 37.8	△ 40.0	19,066.03	115.95
29年 1月	0.912	0.996	-	-	-	-	-	-	-	19,194.06	114.73
2月	0.910	0.992	-	-	-	-	-	-	-	19,188.73	113.06
3月	0.904	0.982	△ 22.9	△ 10.4	△ 34.2	△ 26.0	△ 46.2	△ 33.0	△ 29.7	19,340.18	113.01
4月	0.915	0.982	-	-	-	-	-	-	-	18,736.39	110.06
5月	0.899	0.976	-	-	-	-	-	-	-	19,726.76	112.21
6月	-	0.969	△ 20.5	△ 1.3	△ 37.0	△ 35.5	△ 37.7	△ 41.1	△ 31.1	20,045.63	110.91
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,044.86	112.44

対前月(期)												
平成26年	△ 0.080	△ 0.076	-	-	-	-	-	-	-	-	1,882.56	8.08
27年	△ 0.110	△ 0.070	-	-	-	-	-	-	-	-	3,743.34	15.30
28年	△ 0.161	△ 0.112	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 2,283.29	△ 12.32
28年 II	△ 0.080	△ 0.037	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 449.19	△ 7.25
III	△ 0.033	△ 0.023	-	-	-	-	-	-	-	-	106.18	△ 5.70
IV	△ 0.006	△ 0.018	-	-	-	-	-	-	-	-	1,451.92	7.06
29年 I	△ 0.007	△ 0.016	-	-	-	-	-	-	-	-	1,293.08	4.14
II	-	△ 0.013	-	-	-	-	-	-	-	-	275.42	△ 2.51
28年 3月	△ 0.025	△ 0.022	△ 6.2	0.4	△ 12.4	△ 21.6	0.7	△ 10.8	△ 22.2	550.38	△ 1.95	
4月	△ 0.043	△ 0.010	-	-	-	-	-	-	-	△ 353.87	△ 3.19	
5月	△ 0.053	△ 0.012	-	-	-	-	-	-	-	69.20	△ 0.73	
6月	0.016	△ 0.015	△ 1.3	△ 4.2	1.3	11.8	△ 7.1	6.0	△ 3.6	△ 543.86	△ 3.66	
7月	△ 0.015	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	99.51	△ 1.59	
8月	△ 0.006	△ 0.007	-	-	-	-	-	-	-	417.75	△ 2.63	
9月	△ 0.012	△ 0.010	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.1	△ 12.6	△ 8.2	△ 1.2	△ 5.3	150.97	0.77	
10月	△ 0.014	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	307.47	1.78	
11月	0.010	△ 0.005	-	-	-	-	-	-	-	645.03	4.36	
12月	△ 0.002	△ 0.011	7.6	15.3	0.8	5.8	10.5	△ 6.8	△ 4.1	1,376.49	7.77	
29年 1月	0.001	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	128.03	△ 1.22	
2月	△ 0.002	△ 0.004	-	-	-	-	-	-	-	△ 5.33	△ 1.67	
3月	△ 0.006	△ 0.010	△ 0.4	1.0	△ 1.9	△ 11.4	△ 14.7	4.8	10.3	151.45	△ 0.05	
4月	0.011	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 603.79	△ 2.95	
5月	△ 0.016	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	990.37	2.15	
6月	-	△ 0.007	2.4	9.1	△ 2.8	△ 9.5	8.5	△ 8.1	△ 1.4	318.87	△ 1.30	
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 0.77	1.53	
備考	(総合) 年・月末残ベース		前年同期と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期月末時点)							日経平均(225種) (期中平均値)	(期中平均値)	
資料 出所	日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」 日本銀行「金融経済統計月報」		(公財)福島県産業振興センター「中小企業景気動向調査」							日本経済新聞社	日本経済新聞社	

4 参考

1 中小企業景況レポート（福島県中小企業団体中央会）7月分

（8月16日集計版から抜粋）

食品製造業

（1）漬物：国内原料が農家の高齢化により、どんどん少なくなっている。日本の食糧自給率の低下など、農産物加工業者は将来が大変心配である。

（2）味噌醤油：お中元モノが増えたために、売上出荷量の伸びはあったが、昨年と比較しほぼ横ばいの状況。甘酒の消費量が増加している。消化も良く、継続性が期待できるものと実感している。

（3）菓子：閑散期に入り、厳しい運営が続く。また、原料の値上がりも続いている。ネット販売を手がける製菓会社との競争が現実味を帯びてきた。

（4）乾麺：7月に入り、暑い日が続き出荷量も上がってきた。前月までの減収分をカバーできるか。今後の天候次第である。

（5）酒造：売上げ状況は良くない。来月以降も厳しい状況が続くと思われる。29年産原料米も値上げが考えられるため、経費面でも厳しい1年だろう。

（6）食品団地：今月は天候不順や気温が上がらず季節商品の生産管理が難しかった。消費者ニーズが多様化する中で持続的な商品づくりが重要となってくる。今後も経済環境の変化や原油価格の変動等、収益に影響が出てくる見通しで難しい状況が続いている。

繊維工業

（7）ニット：好況なところもある反面、全体的には前年の95%位の厳しい業況である。

木材・木製品製造業

（8）製材業：春先から低調であった新築需要は、住宅着工意欲増で上向き傾向である。土木用材の出荷は、首都圏向けの荷動きが鈍り傾向にある。梅雨時期にしては、降雨日が少なく出材は昨年より多く、安定生産が続けられている。

（9）外材輸入：製材品の荷動きは、若干増加傾向ではあるが価格の押し上げには繋がっていない。

紙・紙加工品

(10) 紙器・段ボール箱：今年に入り、はや7ヶ月が経ち激変する紙器業界は予測のつかない時代に入った。現在、紙器業界は紙代の値上げムードにあり、物流経費が増大している。また、段ボール生産業界にあつては、通販業界の成長と相まって過去最高の伸び率を示しているが、我々中小ボックスメーカーは、苦戦状態にある。

印刷

(11) 印刷業：各社の業況についてはばらつきがあるが、業界全体としては低調といえる。大手製紙会社が、値上げの動きがあり、秋口以降に実施される見通しである

窯業・土石製品製造業

(12) 砕石（県北地区）：

1. 当月売上数量 前月比 約10%減
2. " 昨年同月比 約16%減
3. 本年度売上数量 昨年対比 約22%減
4. 原因・現状

新年度に入り4ヶ月が過ぎたが、未だ公共事業及び民間工事への納入が低迷している。

(13) 生コン：平成29年7月の組合員生コン出荷数量は、155,532 m³と対前年同月比-9.1%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比-11.9%、官公需が-10.7%であった。

○民需の動向

対前年同月比 -11.9%

対前年同月比増加地区

県中地区 : +5.4% 市内病院治療センター増築工事、マンション新築工事等

いわき地区 : +47.0% ショッピングモール、製紙物流センター建設工事等

対前年同月比減少地区

県北地区 : -36.2% 市内病院新築工事等

白河地区 : -39.5% マンション建設工事等

相双地区 : -17.7% 広野火発石炭貯蔵設備、第一原発固体廃棄物貯蔵庫建設工事等

会津地区 : -3.7% マンション、老人ホーム建設工事等

○官公需の動向

対前年同月比 -10.7%

対前年同月比増加地区

会津地区 : +102.5% 砂防施設工事、河東学園建設、城前団地建設工事等

対前年同月比減少地区

県北地区 : -30.8% 福島市体育館新築工事、東北中央自動車道桑折高架橋工事等

県中地区 : -32.8% 郡山市西田学園、須賀川市民交流センター建設工事等

白河地区 : -16.3% 古殿町体育館建設工事等

いわき地区：-15.9% 港湾災害復旧、市内公立病院新築工事等
相双地区：-10.8% サッカー練習場新設工事等

鉄鋼・金属

(14) 鉄工工業（相双地区）：後継者不足が問題化している。仕事量も少なく先行きが不安である。

一般機器

(15) 各種プラント機器：当組合のプラント設備関連業界は、売上高は前月比1.7倍と大幅に改善されたが、前年同月比に於いては86.5%、前年累計比では66.4%と、全体的な回復にはまだ届いていない流れになっている。また、見積もり引き合い件数の減少も、今後の不安感含みの要因である。

その他の製造業

(16) 漆器：来店しても買わない、見るだけという消費行動パターンが定着した感じがする。都心百貨店も来店客が少なく、荷動きが鈍い。

卸売業

(17) 卸売業：飲料品は、5月以降暑い日が続いた影響もあり、堅調に推移している。一方で、ビール関連商品は6月以降の値上げの影響で苦戦を強いられている。いずれにせよ、7月期も消費全般に特段変わった影響はみられず、川上の卸売業にも同様のことが言える。

(18) 再生資源：古紙、鉄スクラップは前月に続き好調を維持し市中買取り価格も軒並み上昇している。しかし、古紙は7月末に輸出価格が下がり、8月以降、国内価格に影響を与える様相である。

(19) 米麦事業：米穀の販売単価は昨年より上り、売上高は増えた。

小売業

(20) 共同店舗（Oショッピングセンター）：今月は、誕生祭のイベント・地区商工会夏祭り等があり好調であった。前月比、前年比共に売上高が伸びたが必需品需要のみで、お中元、お盆準備用品等の買い廻りは、縮小傾向であった。次月は、お盆用品・帰省客に期待している。

(21) 共同店舗（Nショッピングセンター）：大手薬局チェーンの出店後、商品がバツティングする組合員の売上が10~20%減少している。

(22) 石油：7月中旬以降、元売仕切が上昇となった。県内市場価格の平均は、ほぼ

前月並みで推移しており、利益は圧縮されている。

(23) 水産物：土用丑の日、うなぎ蒲焼きについては、前年に比べ価格は若干安くなった。予約注文は前年並みであったが、当日天候が悪かったため、予約以外の当日売上分については今ひとつであった。

(24) 青果：豪雨の影響もあり野菜単価が部分的に高騰してきている。また、入荷数も少ない。家庭菜園の収穫も始まり小売の販売に影響が出てきている。桃の取扱も今月後半から少しずつ始まり、来月に少しでも取り扱いが増加する事を期待したい。

(25) 家電：天候不順のため、エアコンなどの荷動きが悪くなっている。個店数は、全国的に見ると、店主の高齢化などの影響により毎年約 800 店ほどずつ減少している。県内においても、毎年 6~10 店ぐらい減少している。

商店街

(26) 商店街（福島市）：猛暑が続き、人通りが減少したこともあったが、平均すれば人通りは昨年度と比較し変わらない状況。売上は年々減少傾向にある。

(27) 商店街（郡山市）：7 月は大きな催事としてお中元があったが、お中元で前年比を伸ばすのは今はなかなか難しいよう。下旬は、市で毎年行っている通行量調査日であった。昨年はスマートフォン向けアプリの配信の始まりで、一時的に大幅増になったが今年はどういう結果になったか気になるところである。

(28) 商店街（南相馬市）：相馬野馬追が終了し、街は落ち着きを取り戻している。7 月 21 日より市町村限定復興プレミアム商品券が南相馬市にて発行された。商店街連合会事業として豪華景品付きスタンプラリー抽選会を 8 月 22 日まで実施している。

(29) 商店街（会津若松市）：本格的な夏のシーズンに入り、猛暑に悩まされ屋中の客足にも少なからず影響があったように思う。季節のバーゲンに入ったが、売り上げに波があった。夏休みになり観光客、帰省客は多くなるが、大型店の撤退がこの時期は痛手に感じる。

(30) 商店街（いわき市）：天候には恵まれ、会員の中では大きく売上を伸ばした店舗もある。ただ、全体的には低調である。暑さで夏物セールが好調なスタートを切ったが、後半は街に人が出てこなくなり大型店へ流れるといった例年通りの動きである。夕方から飲食店で繰り出す人は多く、業種の差が大きく出た月であった。

サービス業

(31) 旅館業（いわき湯本温泉）：業況は非常に厳しい状況にある。

(32) 旅館業（土湯温泉）：高温の日が続いたり、雨の日が続いたり天候不順の日が続く月であったことから人出は伸びないのが現状であった。夏休みに入っても子ども達の動きはあまり見られず、今年で 6 年目のコード F 6 でも子ども達の来訪が少ない。

(33) 美容業：美容界もサロンワークの現場にアプリをインストールする事が多くなり、集客、顧客、スタイル集など、管理から決済・会計まで利用している。美容の現場では、技術者の手、センス、頭を使い仕事をしているが、一方では、そのアプリを活用

した成功例が出てきている。美容は、人対人の職場と想っていたが、人手不足などを補う側面もあるのかと考えさせられる。なぜなら、最近の消費者の財布の紐の固さが身近に感じるためだ。しかし、IT化の便利さはリスクと隣り合わせでもある。お客様自身がより納得できる安心・安全（技術・商品 etc）で、望まれるサービスを提供するよう在り方を探っていきたい。

（34）理容業：7月は1年の中でも12月に次いで忙しい月である。今年も天候に恵まれ、まずまずの状況であった。暑い日が続いたため夏メニューが人気で手入れの楽なクールビズヘアーが好調で積極的に取り組んでいるサロンは成果を上げている。少しでもお客様に喜ばれる爽やかなヘアーを提案し、頑張っていきたい。

（35）一般廃棄物収集運搬：通常業務については前月同様の売り上げを見込んでいる。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、しばらくは増加することはないと思われる。雇用については組合員各社でも人材の確保については苦慮している。

建設業

（36）建設業（県南地区）：工事が建築・土木ともに減少しているため、景況の悪化が継続している。県工事は中小規模の会社が受注できにくくなっている。民間建築工事も減少傾向が続いているが、太陽光発電などの民間土木工事は若干ある。

（37）管工事：前月比・前年同月累計対比で、給水・排水設備申請とも減少している。

（38）専門工事：復興事業による財務基盤強化を背景に公共事業にもダンピング受注等が目立つようになり、下請け業界としては今後一層の経営環境の悪化が想定される。

運輸業

（39）トラック団地（県北地区）：トラックドライバーの高齢化が進んでおり、若年層の採用を進めているが厳しい状況になっている。トラックドライバーは、労働時間が長いが高収入であり憧れの職業であった時代もあったが、現在は近距離中心で労働時間も改善され働きやすい環境が整ってきた反面、収入は一般的となり憧れの職業ではなくなった。また、若年層は車への関心も薄く、今後もトラックドライバー確保が難しい状況は続くと思われる。

（40）ハイヤータクシー：低調傾向が続いている。

2 景気動向指数(福島県)

概 括

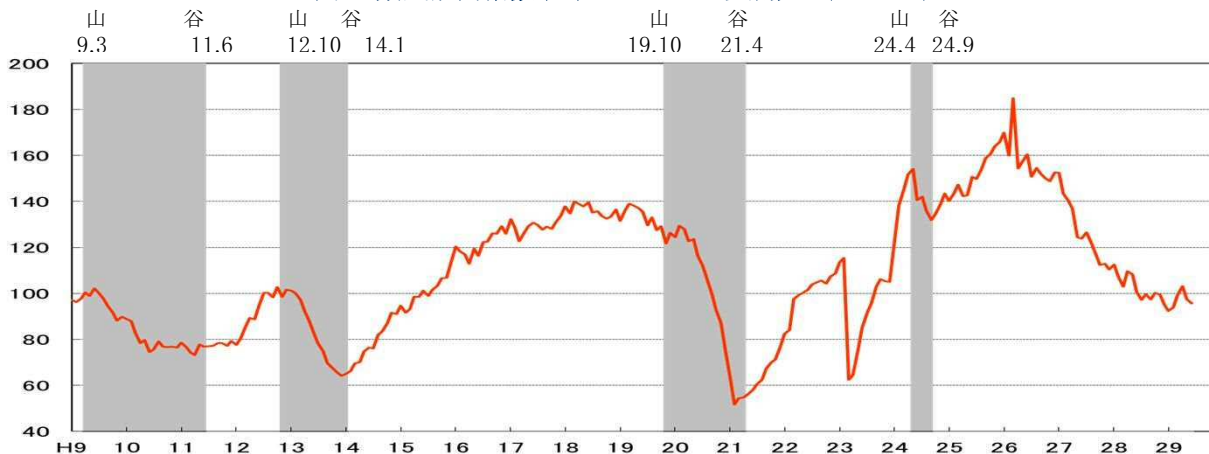
6月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H22年=100)は、先行指数98.2ポイント、一致指数95.6ポイント、遅行指数105.5ポイントとなった。

先行指数は、前月(100.4ポイント)を2.2ポイント下回り、2か月連続の下降となった。

一致指数は、前月(97.5ポイント)を1.9ポイント下回り、2か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月(107.4ポイント)を1.9ポイント下回り、2か月振りの下降となった。

図1 景気動向指数(CI)グラフ <一致指数> (H22=100)



※CI(Composite indexes)：景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

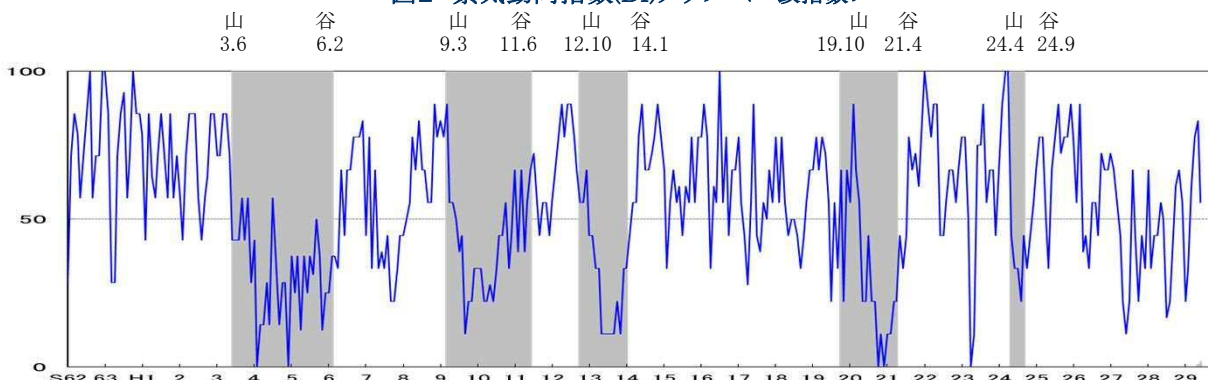
※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

区分	景気動向指数(CI指数)					
	福島県(平成29年8月24日公表)			全国(平成29年8月7日公表)(速報値)		
	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
H29年1月	96.5	92.4	110.5	104.6	113.3	115.3
2月	98.3	93.9	108.4	104.8	115.0	116.0
3月	98.9	99.2	108.3	105.7	114.4	116.7
4月	102.0	103.2	106.1	104.2	117.1	117.1
H29年5月	100.4	97.5	107.4	104.7	115.8	116.4
6月	98.2	95.6	105.5	106.3	117.2	118.1
採用指標数	7指標	9指標	6指標	11指標	9指標	9指標
資料	県:統計課「福島県景気動向指数」					
出所	国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

図2 景気動向指数(DI)グラフ <一致指数>



※DI(Diffusion Indexes)：景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

【景気基準日付設定～第15景気循環～】

本県の第15景気循環の山を「平成24年4月」、谷を「平成24年9月」と設定した。

景気拡張期間は36か月、景気後退期間は5か月となり、全循環は41か月となった。

3 「福島県金融経済概況」

平成29年7月3日 日本銀行福島支店

県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。
【前月からの基調の変化：前月据置】

最終需要の動向をみると、震災からの復旧・復興へ向けた取り組みが続く下で、公共投資、住宅投資は高水準で推移している。個人消費は、良好な雇用・所得環境などを背景に緩やかに持ち直しつつある。設備投資は、企業収益が高水準にある中、堅調に推移している。

鉱工業生産は、米国等先進国向けが堅調に推移している一方、国内向けの一部に弱さがみられることから、全体としては横ばい圏内の動きとなっている。

雇用・所得環境をみると、強い人員不足感が続いている中、雇用者所得は前年をやや上回っている。

先行きについては、良好な雇用・所得環境が続く下で、個人消費や生産が改善するにつれて、県内景気も緩やかな回復を続けるものとみられる。もともと、海外経済や為替相場の動向、復旧・復興需要のピークアウトなどが県内景気に及ぼす影響については、引き続き注意深くみていく必要がある。

4 「月例経済報告」

平成29年7月19日 内閣府

景気は、緩やかな回復基調が続いている。

【前月からの基調の変化：前月据置】

(基調判断)

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、持ち直している。
- ・ 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・ 雇用情勢は、改善している。
- ・ 消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつて、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。



(政策態度)

政府は、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年(2016年)熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2017」、「未来投資戦略2017」、「規制改革実施計画」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」及び「ニッポン一億総活躍プラン」を着実に実行する。働き方改革については、3月に決定した「働き方改革実行計画」に基づき、早期に関連法案を提出するとともに、高度プロフェッショナル制度の創設や企画業務型裁量労働制の見直しなどの法改正を早期に図る。また、デフレから完全に脱却し、しっかりと成長していく道筋をつけるため、「未来への投資を実現する経済対策」及びそれを具体化する平成28年度第2次補正予算を円滑かつ着実に実施する。加えて、平成29年度予算を円滑かつ着実に実施する。

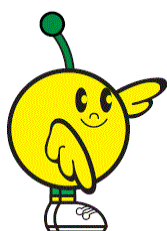
これらにより、好調な企業収益を、投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。

日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

5 「最近の県経済動向」総合判断

総合判断	判断の 変化方向	7月(7月26日公表)	判断の 変化方向	8月(8月24日公表)
	前月据置 	前月据置 	県内の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、着実に持ち直している。	県内の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、着実に持ち直している。

「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。



ふくしま統計情報BOX

検索

※ 次回公表予定日は平成29年9月下旬です。

■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して25の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。一部の計数は速報値を用いており、確報訂正や遡及改定により、前回発表の計数と相違する場合があります。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(公財)福島県産業振興センターの中小企業景気動向調査結果(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部統計課

〒960-8043 福島市中町8番2号
電話 024(521)7148 内線 (2430)
FAX 024(521)7892
E-mail toukei@pref.fukushima.lg.jp